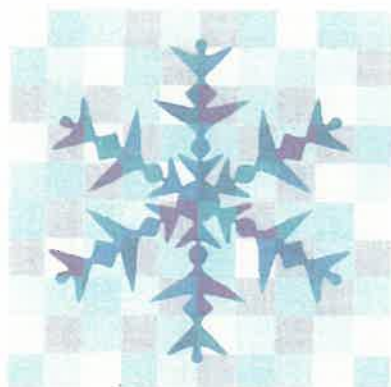


令和2年度

## 教育委員会の事務に関する点検評価報告書



令和3年3月

田村市教育委員会

## はじめに

教育委員会では、児童生徒の健全育成にかかわる学校教育はもとより生涯にわたって生きがいをもちよりよい人生を歩むための生涯学習の充実のほか、芸術文化活動の推進や文化財の保護、スポーツの振興など多岐にわたっています。これらの事業内容は、学校教育課、生涯学習課、教育総務課のほか、各地域の公民館等所属機関の職員が一丸となり、事務事業を分担して市民の皆様の負託に応えるべく業務にあたっているところですが、市民の皆様はその成果を周知していただくのは、大変難しいことであると感じております。幼稚園、小・中学校にお子様をお預けいただいている保護者の皆様にはお子様の様子を通して、生涯学習関連にかかわる事業についてはその関わりの中、それぞれご承知いただいている部分もあるかと思いますが、取組の状況を発信する機会は部分的でありました。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成19年に改正されて、事務事業の点検・評価並びに公表が義務づけられたことを受け、教育委員会としては、平成20年度から自ら事務事業を点検・評価するとともに外部評価を経て、評価結果を公表してまいりました。

制度の制定から13年目にあたり、改めて自らの事務事業をより一層厳しく点検・評価して積極的に公表し、ご批評をいただいた上で改善していく意を強くしたところでありました。

令和2年度は「田村市教育大綱」の一部改訂を行い、教育委員会と学校との連携を密にするとともに、現場の状況に応じてフレキシブルに対応する体制のもと、実質的な成果が目に見えるように努力を重ねてまいりました。本報告書は、その取組の記録となる側面もあるものと考え、PDCAのマネジメンドサイクルが機能するように工夫改善を加えて作成いたしました。市民の皆様には、点検・評価の状況をぜひご覧いただき、忌憚のないご意見をいただきまして、教育委員会の取組がより一層活性化するよう改善を加えてまいりたいと考えております。

教育委員会が市民の皆様にとりまして身近な頼りになる存在として感じていただけますよう努力してまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

令和3年3月

田村市教育委員会教育長 飯村新市

## 目 次

I 事務事業の点検及び評価の目的、実施方針	1
II 主な施策と指標	2
1 教育振興推進プログラムダイジェスト I (学校教育課所管事業)	3
<u>施策1 学校教育の充実</u>	
施策目標1-①:『確かな学力』を育成します。	
指標目標1-①(1):学力向上の支援	4
指標1-①(1)-1:学力の定着度(田村市標準学力調査)	4
指標1-①(1)-2:学力の定着度(田村市標準学力調査)	4
指標目標1-①(1):複式学級指導の充実	6
指標1-①(1)-1:本市の複式学級の状況	6
指標1-①(1)-2:複式学級指導支援員の配置状況	6
指標目標1-①(2):英語が使える人材育成	7
指標1-①(2)-1:外国語指導助手の派遣実績	7
指標1-①(2)-2:NHKラジオ講座受講の奨励	7
指標1-①(2)-3:予定されていたが中止となった取組	7
指標目標1-①(3):ICT教育の充実	8
施策目標1-②:「規範意識を養い、豊かな心と健やかな体を育成します。」	
指標目標1-②(1):道徳教育の充実	9
指標1-②(1)-1:道徳教育指導状況	9
指標目標1-②(2):読書活動の推進	12
指標1-②(2)-1:読書活動の推進	12
指標目標1-②(3):体力・運動能力の向上	14
指標1-②(3)-1:体力の向上の支援	14
指標目標1-②(3):健康教育の推進	15
指標1-②(3)-1:健康教育の推進	15
施策目標1-③:「個に応じた教育を推進します。」	
指標目標1-③(1):特別支援教育の充実	17
指標1-③(1)-1:特別支援教育の充実	17
指標目標1-③(2):実効ある生徒指導の推進	18
指標1-③(2)-1:学校への適応指導の充実	18
施策目標1-④:「地域と共にある学校教育を実現します。」	
指標目標1-④(1):開かれた学校づくり	22
指標1-④(1)-1:教育活動の積極的な公開	22
指標目標1-④(2):コミュニティ・スクール制度の導入	22

指標 1-④(2)：田村市各中学校区における学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) 設置の進捗状況	22
指標目標 1-④(3)：特色ある教育による学校の魅力向上	23
指標 1-④(3)：特色ある教育による学校の魅力向上	23
指標目標 1-④(4)：地域や保護者との連携や協力	23
指標 1-④(4)：地域や保護者との連携や協力	23
指標 1-④(5)：こども議会	23
指標 1-④(6)：F2サミット	23
施策目標 1-⑤：「教職員の資質の向上を図ります。」	
指標目標 1-⑤(1)：教職員の指導力の向上	25
指標 1-⑤(1)-1：教職員の指導力の向上	25
指標目標 1-⑤(2)：教職員服務倫理の確立と働き方改革	26
指標 1-⑤(2)-1：服務倫理の確立と働き方改革	26
<b>2 教育振興推進プログラムダイジェストⅡ（生涯学習課所管事業）</b>	<b>28</b>
<b>施策 2 生涯学習の充実</b>	
施策目標 2-①：「公民館の活性化を図ります。」	
指標目標 2-①(1)：学級講座の充実	29
指標 2-①(1)-1：市民のニーズを捉えた学級講座の企画	29
指標目標 2-①(2)：公民館運営の活性化	29
指標 2-①(2)-1：市民に愛される公民館づくり	29
指標目標 2-①(3)：生涯学習等複合施設の整備	29
指標 2-①(3)-1：文化・学習活動や交流施設の整備に向けた構想の策定	29
施策目標 2-②：「放課後子ども教室推進事業を推進します。」	
指標目標 2-②(1)：放課後子ども教室（めだかの学校）の推進	29
指標 2-②(1)-1：放課後子ども教室の円滑な運営	29
指標 2-②(1)-2：コーディネーター及び指導員の育成と確保	29
指標 2-②(1)-3：放課後子ども教室の周知及び広報	29
施策目標 2-③：「学校支援活動（地域学校協働活動）事業の推進を図ります。」	
指標目標 2-③(1)：学校支援活動事業の円滑な実施	31
指標 2-③(1)-1：学校支援活動事業の推進	31
指標 2-③(1)-2：地域の人材活用体制の整備	31
指標 2-③(1)-3：学校支援活動事業の周知及び広報	31
施策目標 2-④：「図書館の機能を充実します。」	
指標目標 2-④(1)：図書館の機能充実	33
指標 2-④(1)-1：利用促進に向けた図書館資料及び機能の充実	33
指標 2-④(1)-2：子どもの強く生き抜く力を育むための読書活動の推進	33
指標 2-④(1)-3：図書館事業の周知	33

### 施策3 芸術文化活動の推進

施策目標3-①：「多様な芸術文化活動を支援します。」

指標目標3-①(1)：芸術文化活動への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

指標3-①(1)-1：様々な芸術文化活動への支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

指標目標3-①(2)：文化センターを活用した芸術文化の提供・・・・・・・・・・35

指標3-①(2)-1：質の高い自主文化事業等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

### 施策4 文化財の保存と継承

施策目標4-①：「地域に遺された文化財の保存と継承を推進します。」

指標目標4-①(1)：文化財の保存と継承・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

指標4-①(1)-1：文化財の保存と継承・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

指標目標4-①(2)：地域の歴史を学び親しめる施設の整備・・・・・・・・・・36

指標4-①(2)-1：歴史民俗資料館の活用と文化財保存施設の整備・・・・・・・・36

### 施策5 スポーツ・レクリエーション活動の推進

施策目標5-①：「幅広い年代が親しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。」

指標目標5-①(1)：スポーツ・レクリエーション大会の推進・・・・・・・・・・37

指標5-①(1)-1：運動公園内施設によるスポーツ交流人口の拡大・・・・・・・・37

指標5-①(1)-2：田村富士ロードレース大会への推進と参加者拡大・・・・・・・・37

指標5-①(1)-3：ふくしま駅伝への参加と記録への挑戦・・・・・・・・・・37

指標目標5-①(2)：スポーツ・レクリエーションを通じた交流の推進・・・・・・・・37

指標5-①(2)：小中学生対象のスポーツ大会や講習会等の開催・・・・・・・・37

指標目標5-①(3)：活動を支える充実した指導体制の確立・・・・・・・・・・37

指標5-①(3)-1：指導者対象の研修会や講習会の開催・・・・・・・・・・37

指標目標5-①(4)：ネパールとの交流事業の推進・・・・・・・・・・・・・・・・37

指標5-①(4)-1：ネパールとの交流事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

## 3 教育振興推進プログラムダイジェストⅢ（教育総務課所管事業）・・・・・・・・40

### 施策6 教育行政の円滑な推進と効率的運営

施策目標6-①：「教育委員会の活性化を図ります。」

指標目標6-①(1)：開かれた教育委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

指標6-①(1)-1：教育委員会の透明性を高める取組・・・・・・・・・・41

指標目標6-①(2)：教育委員会施策の評価と公表・・・・・・・・・・・・・・・・42

指標6-①(2)-1：教育振興推進プログラムの自己評価・・・・・・・・・・42

施策目標6-②：「教育予算を効果的・効率的に執行します。」

指標目標6-②(1)：教育予算の効果的運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

指標6-②(1)-1：田村市財政計画をふまえた効率的な予算執行・・・・・・・・43

施策目標 6-③：「人材育成を推進します。」	
指標目標 6-③(1)：高校生・大学生の就学支援	43
指標 6-③(1)-1：奨学金制度の効果的な運営	43
指標目標 6-③(2)：高校生の海外留学支援	43
指標 6-③(2)-1：海外留学支援制度の周知	43
施策目標 6-④：「教育環境の整備・充実を進めます。」	
指標目標 6-④(1)：田村市総合計画に基づく快適で安全な教育環境の整備	43
指標 6-④(1)-1：教育活動の場にふさわしい環境の整備	43
指標目標 6-④(2)：学校の安全管理と事故防止	43
指標 6-④(2)-1：児童生徒の安全な学校生活のための環境整備	43
指標目標 6-④(3)：児童生徒の通学支援	44
指標 6-④(3)-1：児童生徒への費用的支援	44
施策目標 6-⑤：「教育効果を高めるための学校規模の適正化を進めます。」	
指標目標 6-⑤(1)：複式学級解消に向けた学校規模の適正化推進	44
指標 6-⑤(1)-1：学校規模の適正化推進	44

### Ⅲ 外部評価委員より

### Ⅳ 結びに

## I 事務事業の点検及び評価の目的、実施方針

### 1 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、田村市教育委員会の事務事業に関する管理及び執行状況について、教育に関する学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、報告書を作成して議会に提出するとともに公表する。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 実施方針

- (1) 田村市教育委員会は、田村市教育大綱に示された事務事業について点検・評価結果をまとめる。
- (2) 田村市教育委員会は、田村市教育委員会外部評価委員会設置要綱に基づき、教育に関する学識経験者3名に外部評価委員を委嘱し、田村市教育委員会外部評価委員会を設置する。（以下、外部評価委員会という）
- (3) 外部評価委員会は、田村市教育委員会が行う事務事業についての点検及び評価（内部評価）について、意見を述べ、評価を行う。（外部評価）
- (4) 田村市教育委員会は、内部評価並びに外部評価について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表する。

～ Ⅱ 主な施策と指標 ～



# 1 学校教育の充実

☆：学びきらめきプロジェクト事業

## ① 確かな学力を育成します

### (1) 学力向上の支援

- ◇ 主体的、対話的で深い学びの実現
  - ・「授業スタンダード」の活用
  - ・「活用力育成シート」の活用
  - ・教員の授業改善促進
- ◇ 学習習慣の確立
  - ・「田村っ子」家庭学習の手引の活用
  - ・「家庭学習スタンダード」等の活用
- ◇ 連携型幼保・小・中一貫教育の推進
  - ・幼小連携小中一貫教育推進事業
  - ・5・4制小中一貫カリキュラムの共有
  - ・はぐみステップ・スタートカリキュラムの充実
- ◇ 複式学級指導の充実
  - ・複式学級指導支援員の配置

### (2) 英語が使える人材育成

- ◇ 国際社会に対応した外国語教育
  - ・ALTによる外国語授業の充実
  - ・中学生夏季英語研修
  - ・海外短期英語留学研修(☆)
  - ・中学生海外派遣研修
  - ・English School Bus 事業(☆)

### (3) ICT教育の充実

- ◇ プログラミング教育の推進
- ◇ プログラミング的思考の育成
- ◇ ICT教育環境の整備
- ◇ タブレット端末の配置と活用(☆)

## ② 規範意識を養い、豊かな心と健やかな体を育成します

### (1) 道徳教育の充実

- ◇ 「特別の教科 道徳」授業の充実
  - ・道徳教育推進委員会の活性化
  - ・地域素材や人材の活用
- ◇ 心や行動の指針の共有・実践
  - ・「心の道標(みちしるべ)」の啓発
  - ・「実践躬行5則」「ルール10」の実践

### (2) 読書活動の推進

- ◇ 読書意欲の向上
  - ・巡回学校司書の活用(☆)
  - ・市ビブリオバトル大会の開催(☆)

### (3) 体力・運動能力の向上

- ◇ 体力向上策の推進
  - ・「運動身体づくりプログラム」の実践
  - ・田村地区小学校陸上競技大会の支援

### (4) 健康教育の推進

- ◇ 放射線・防災教育の充実
  - ・外部講師の活用
- ◇ 食育授業の充実
  - ・肥満や歯齲蝕(うしか)の解消・予防
  - ・栄養職員等の授業支援
- ◇ 健康教育教室の充実
  - ・薬物乱用防止教室等の開催
  - ・歯科・思春期保健教室の開催

## ③ 個に応じた教育を推進します

### (1) 特別支援教育の充実

- ◇ 個に応じた学習支援
  - ・特別支援教育支援員の適切な配置
  - ・特別支援教育支援員の研修
- ◇ 「サポネット田村」運営の充実
  - ・サポネットファイルの活用
  - ・ケース会議の支援
  - ・特別支援教育啓発セミナーの開催
- ◇ 就学前幼児への早期相談
  - ・こども未来課との連携
  - ・「すくすく教室」との連携

### (2) 実効ある生徒指導の推進

- ◇ 学校生活への適応指導の充実
  - ・学級生活満足度調査(Q・U)
  - ・小・小連携・小・中連携交流事業
  - ・異校種間の引継ぎ支援
- ◇ いじめ、不登校への迅速な対応
  - ・市「いじめ防止等に関する条例」
  - ・心の教室相談員の配置
  - ・SC、SSW派遣事業の活用
  - ・生徒指導 学校訪問
  - ・適応指導教室の開設

## ④ 地域と共にある学校教育を実現します

### (1) 開かれた学校づくり

- ◇ 教育活動の積極的な公開
  - ・学校便りやホームページの活用
  - ・「学校へ行こう週間」
- ◇ 学校評価による学校運営の充実
  - ・学校自己評価の公開
  - ・学校関係者評価の推進

### (2) コミュニティ・スクール制度の導入

- ◇ 学校運営協議会(学園型)の設立
  - ・学校運営協議会委員の研修
  - ・CS準備委員会の研修(☆)

### (3) 特色ある教育による学校の魅力向上

- ◇ 総合的な学習の時間による地域学習
  - ・地域素材による地域理解
  - ・地域人材によるキャリア教育

### (4) 地域や保護者との連携や協力

- ◇ 地域ボランティアの積極的活用
  - ・地域学校協働本部事業との連携
  - ・学習支援ボランティアの活用
- ◇ 危機管理情報伝達体制の整備
  - ・緊急時「eメッセージ」メール配信システム
- ◇ 児童生徒のまちづくりへの参画
  - ・こども議会
  - ・中学生F2サミット(☆)

## ⑤ 教職員の資質向上を図ります

### (1) 教職員の指導力向上

- ◇ 学校訪問等による授業力向上の支援
  - ・計画訪問・要請訪問
  - ・学校支援指導主事による授業支援
- ◇ 課題研究による指導力の向上
  - ・学力向上推進委員会の活性化
  - ・先進県研修派遣と専門研修派遣(☆)
  - ・学校教育指導委員による個人課題研究
  - ・小中連携による中学校区授業研究会
- ◇ 専門研修の充実
  - ・教員セミナー(☆)
  - ・幼稚園教諭等研修会
  - ・プログラミング教育研修会
  - ・養護教諭研修会
  - ・英語担当者・ALT合同研修会
  - ・常勤講師研修会

### (2) 教職員服務倫理の確立と働き方改革

- ◇ 不祥事根絶
  - ・校内相談体制の構築
  - ・服務倫理委員会の充実
- ◇ 勤務の適正化
  - ・勤務実態の把握
  - ・勤務適正化への支援

参考：施策指標の達成状況

【指標1-①(1)】学力向上の支援

1. 学力の定着度

令和元年度から「田村市標準学力調査」(標準学力調査：東京書籍)を実施しており、今年度2回目となる。

(1) 実施学年及び教科

○小学校1～6年：国語、算数

○中学校1～2年：国語、数学、英語

※ 問題は、毎年問題を入れ替える全面改定版を採用。

(2) 実施計画

○実施時期 令和3年1月13日(水)～1月18日(月)

(3) 実施後の取組

○標準学力調査結果の分析を行い、課題を明確にして、その改善に向けた具体策を立案し、共通理解のもとに学習指導の改善・充実を図る。

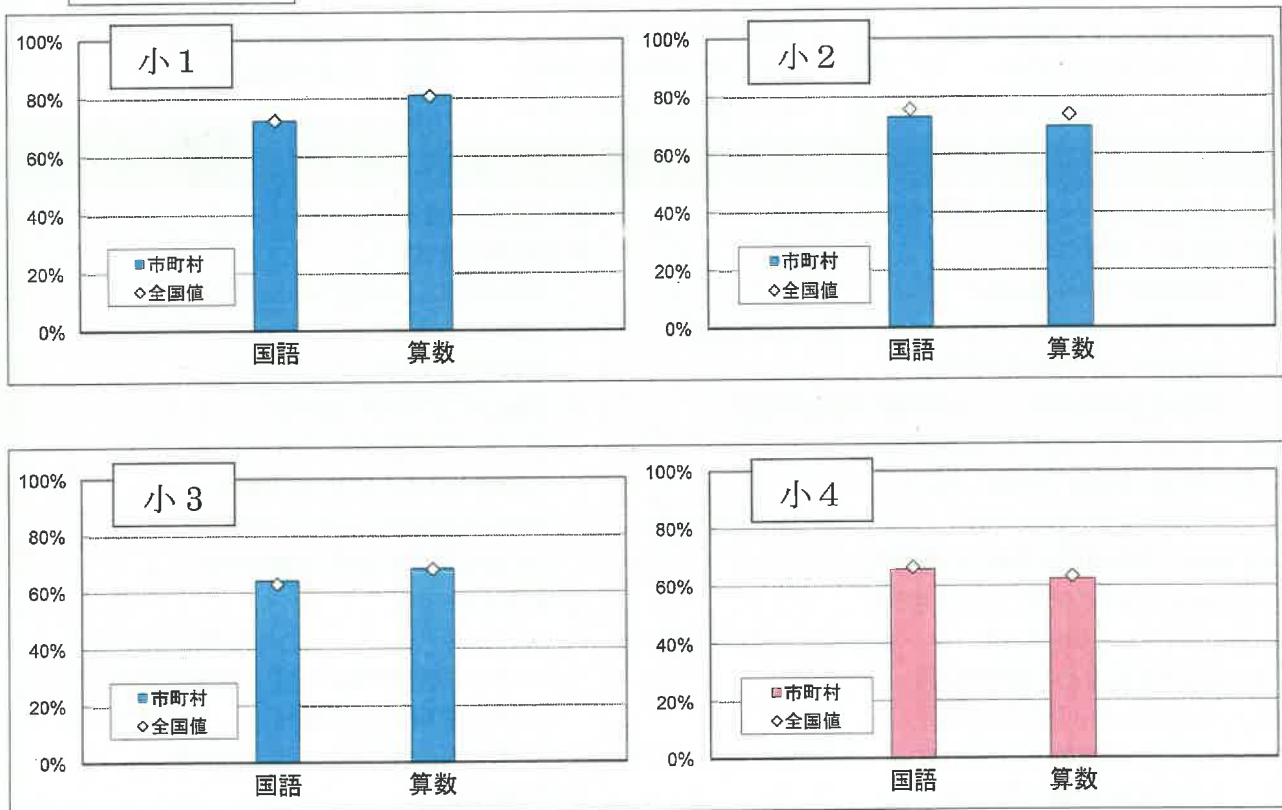
○分析結果と自校の対応策は、市教育委員会に報告した。

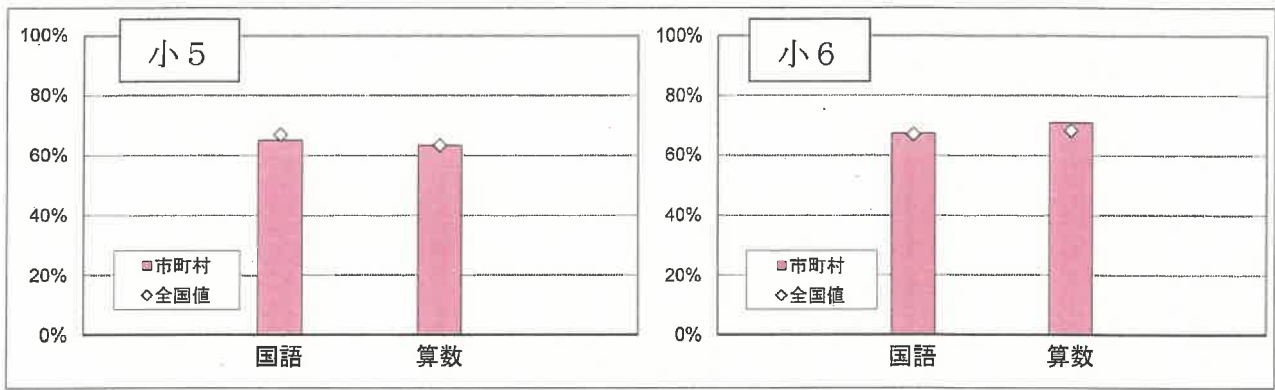
2. 学力の定着度

※ 今年度はコロナ禍の影響により、「全国学力・学習状況調査」及び「ふくしま学力調査」を実施しなかったため、「田村市標準学力調査」の結果を指標とする。

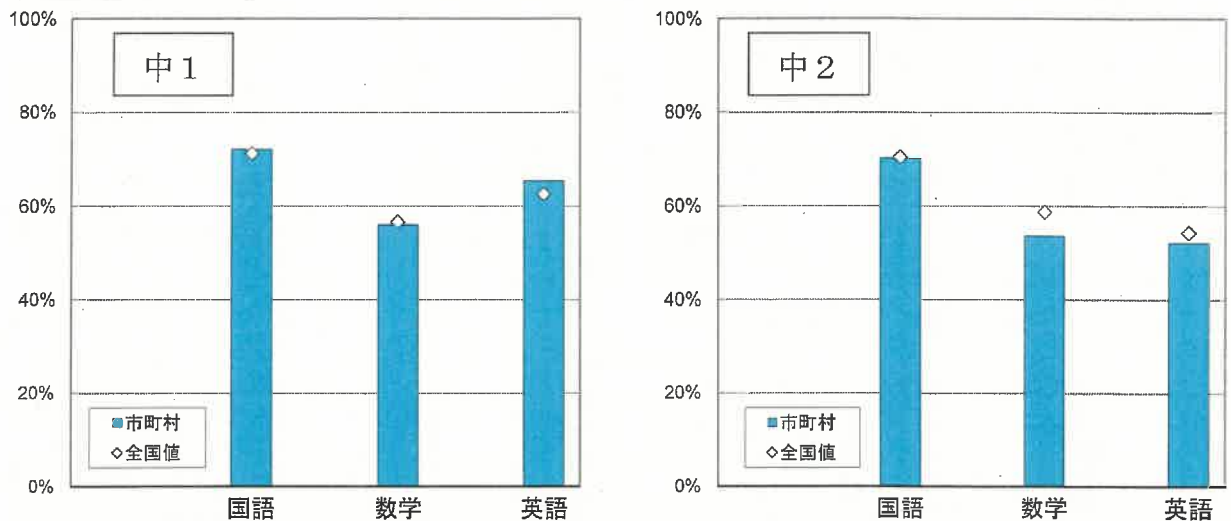
(1) 平均正答率による全国との比較

小学校：正答率





中学校：正答率



<考察>

本市の結果の概要については、上のグラフのようになる。小学校においては、国語は全国平均正答率とほぼ同じが、少し下回っている。算数は全国平均正答率とほぼ同じであるが、第2学年においては下回っている。第3学年、第6学年は、国語・算数共に全国平均正答率を上回っている。

中学校においては、1年生は国語・英語において全国平均正答率を上回っている。2年生は、数学・英語において全国平均正答率を下回っている。

学力向上には、毎日の学習の積み重ねが重要であり、教育委員会としては、今回の調査結果の分析を丁寧に行い、すべての教員が児童生徒一人一人に応じた適切な指導が行えるよう、授業改善にさらに力を入れていきたいと考える。

【指標 1-① (1)】 複式学級指導の充実

1. 本市の複式学級の状況

(※複式学級になる条件：1, 2年は合わせた人数が8名以下、2年生以上は隣接した学年と合わせた人数が16名以下のとき)

学校名	学年人数	学年人数	合計	県からの加配
① 都路小	1年4名	2年2名	6名	復興推進加配で代替
② 芦沢小	3年5名	4年9名	14名	なし
③ 同	5年7名	6年2名	9名	
④ 美山小	2年6名	3年9名	15名	複式補正補充教員1名配置
⑤ 同	4年7名	5年8名	15名	
⑥ 緑小	5年4名	6年7名	11名	なし
⑦ 瀬川小	3年4名	4年7名	11名	なし
⑧ 同	5年5名	6年5名	10名	
⑨ 要田小	3年6名	4年8名	14名	なし
⑩ 同	5年8名	6年4名	12名	

※：市内6校10学級が複式学級であるが、都路小については復興推進加配補充教員が配置され、単独で指導をしているため、実質9学級となる。

2. 複式学級指導支援員の配置状況

(1) 複式学級指導支援員の配置状況

学校名	学年人数	学年人数	合計	市の配置
① 芦沢小	3年5名	4年9名	14名	1名 (元小学校教諭)
② 同	5年7名	6年2名	9名	
③ 美山小	2年6名	3年9名	15名	1名 (元中学校教諭)
④ 同	4年7名	5年8名	15名	
⑤ 緑小	5年4名	6年7名	11名	1名 (元小学校教諭)
⑥ 瀬川小	3年4名	4年7名	11名	1名 (元小学校教諭)
⑦ 同	5年5名	6年5名	10名	

(2) 活用方法

- 週15時間の勤務 (毎日午前中3時間目処)
- 複式指導における担任のサポート
- 採点等の担任業務の分担

〈考察〉

県からの補正教員が配置されていない学校に対し、一人を配置したことで、教員にとって指導の充実が図られた。児童にとっても、困ったときに質問ができる教員がいるため、安心感をもって学習に取り組んだり生活したりすることができた。

教員免許のある方が必要なため、採用枠を充足できておらず、人材確保が課題となっている。

【指標 1－①（2）】英語が使える人材育成

1. 外国語指導助手の派遣実績（単位：回）

学 校 名	令和2年度	学 校 名	令和2年度
滝根小	77	滝根中	128
大越小	66	大越中	134
都路小	65	都路中	99
常葉小	44	常葉中	202
芦沢小	41	船引南中	99
船引南小	65	船引中	205
船引小	111	合 計	864
美山小	52		
緑 小	57		
瀬川小	35		
要田小	54		
合 計	667		

2. NHKラジオ講座受講の奨励

- 英語検定3級以上の資格取得を奨励し進路選択の幅を広げるため、今年度より小学校高学年、中学生を対象に、NHKラジオ講座受講を勧める通知文を配付した。中学校には、見本教材を配付し、学級担任や教科担任から受講を進める取り組みを行った。各中学校で英語学習に対する意識が高い生徒数名が受講している。

3. 予定していたが中止となった取組

(1) 中学生夏季英語研修（中学生サマーイングリッシュキャンプ）

- ・期 日 7月25日（土）、26日（日）
- ・会 場 スカイパレスときわ

参加を希望する中学生を対象に、早稲田大学国際教養学部の学生と英語指導助手を講師として、1泊2日の英語研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた。

(2) 中学生海外派遣研修事業

- ・期 日 9月28日（月）～10月6日（火）までの9日間
- ・派遣先 田村市姉妹都市アメリカ・オハイオ州マンスフィールド市、他

派遣希望者の中から面接等により選考された市内中学生を対象としてアメリカ・オハイオ州マンスフィールド市を中心に、地元の学校との交流やホームステイなどを通して研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた。

(3) 海外短期英語留学研修事業

- ・期 日 令和3年1月2日（土）～1月8日（金）までの7日間
- ・派遣先 フィリピンセブ島

英検3級以上取得した中学生を対象として英語力上級者数名をフィリピンセブ島に短期留学させ、マンツーマン及びグループによる英語レッスンを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた。

【指標 1-① (2)】 ICT教育の充実  
各学校へのタブレット端末の導入状況

平成30年度	令和元年度	導入率	合計	令和2年度
4校	13校	100%	17校	17校
114台	501台	4人に1台	615台	1,832台

〈考  
察〉  
魅力

ある教育の実現と情報を活用した効果的な学びの実現のため、令和元年度までに615台のタブレットを導入した。導入した LTE タブレット端末※1 は、校舎内に限らず校庭などの屋外でも使用できることから、幅広くあらゆる授業や修学旅行などで活用してきた。

※1 LTE タブレット端末・・・携帯電話の回線を利用して通信するタブレット。携帯電話通信エリア内であればどこでも使用ができ、安定した通信が可能

今年度は、コロナ禍の影響もあり、臨時休業中において、タブレットを児童生徒の自宅に持ち帰らせて教員と児童生徒でオンラインにより連絡を取ったり、密を避けるために ICT を活用し、教室を分散して授業を行ったりする学校もあった。

さらに、令和3年2月末までにWi-Fi型タブレットを1,832台導入したことにより、市内全児童生徒一人1台、利用することが可能となり、授業や学校生活の中で児童生徒が活用する場面が増えた。

あわせて、電子黒板や大型モニターも整備し、電子黒板等を活用して授業のポイントを可視化したり、互いの考え方を共有化したりすることが簡単にできるようになったことから、「図や絵が理解しやすい」「動画でも見られるので便利になった」と授業のわかりやすさを実感する児童生徒が増えてきた。

また、タブレットを活用して教科の問題を解くことができるよう、インターネットによる配信サービスを活用した教材「タブレットドリル」を導入する予定である。

一方、ICT機器の操作に苦手意識をもっている教員も多くいるため、教員を対象とした活用支援を行う必要があり、今年度は1～3月において、1校あたり18時間（3時間×6回）でICT支援員を派遣する予定である。

【指標1-②(1)】 道徳教育の充実

道徳教育指導状況〔福島県道徳教育実施状況調査〕

令和3年1月実施

〔R2指導の重点1〕 実効性ある指導計画等の作成と学校全体の推進体制の確立

1 道徳教育の全体計画への「いじめ防止対策推進法」の位置付けについて

全体計画への「いじめ防止対策推進法」の位置付け（明示）	小学校数	中学校数
① 位置付け（明示し）ている。	11	6
② 位置付け（明示し）ていない。		

2 道徳教育全体計画の「別葉」（様式は任意）について

(1) 作成の有無について

「別葉」の作成状況	小学校数	中学校数
① 作成している。	11	6
② 今年度中に作成する予定である。		
③ 作成する予定はない。		
④ その他（ ）		

(2) 活用の有無について

「別葉」の活用状況	小学校数	中学校数
① 成果や課題などを記入して活用している。	3	
② 記入はしていないが確認をするなどして活用している。	8	6
③ 活用していない。		
④ その他		

3 教科書教材以外の副教材の活用について

(1) 副教材の年間指導計画への位置付けについて

年間指導計画への位置付け	小学校数	中学校数
① 各学年において、1～3時間を位置付けている。	8	4
② 各学年において、4～6時間を位置付けている。	2	2
③ 各学年において、7時間以上を位置付けている。	1	
④ 位置付けていない。		

(2) 年間指導計画へ位置付けた副教材の種類について【複数回答可】

年間指導計画へ位置付けている副教材の種類	小学校数	中学校数
① ふくしま道徳教育資料集	11	6
② 「わたしたちの道徳」等文科省著作資料		2
③ 市町村発行の指導資料	4	1
④ その他		

(3) ふくしま道徳教育資料集の活用について

① 活用の有無について

活用状況	小学校数	中学校数
① 全学年で活用した。	11	3
② 一部の学年で活用した。		1
③ これから活用する予定である。		2
④ 活用する予定はない。		

② ふくしま道徳教育資料集の年間指導計画への位置付けについて

年間指導計画への位置付け	小学校数	中学校数
① 各学年において、概ね1時間を位置付けている。	2	
② 各学年において、概ね2時間を位置付けている。	5	1
③ 各学年において、概ね3時間以上を位置付けている。	4	5
④ 道徳科の授業以外の教育活動に位置付けている。		
⑤ 位置付けていない。		

③ 活用の場面について

活用場面	小学校数	中学校数
① 道徳科の授業に活用した。	11	6
② 道徳科の授業以外の教育活動で活用した。		1
③ 家庭学習等で活用した。		
④ その他		

【R2指導の重点2】多様な指導方法・指導方法の工夫及び家庭や地域との連携

4 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について

(1) 児童生徒の心に響く多様な指導方法への取り組みについて

多様な指導方法への取り組みについて	小学校数	中学校数
① 教員は児童生徒の心に響く多様な指導方法を理解し、工夫して実践している。	10	5
② 教員は児童生徒の心に響く多様な多様な指導方法を概ね理解しているが実践できていない。	1	
③ 教員の多様な指導方法への理解や取り組みはまだ不十分である。		1
④ その他		

(2) 授業改善、指導と評価の一体化等を踏まえた校内研修の取り組みについて

校内研修への取り組みについて	小学校数	中学校数
① 授業研究や評価の事例検討等の校内研修を行った。	5	4
② 授業研究や評価の事例検討等の校内研修を行っていない。	6	2

(3) 担任以外の教員の道徳科授業への参加について【複数回答可】

道徳(科)の授業の指導体制	小学校数	中学校数
① 道徳科の授業に(を)、校長先生が参加した。(行った。)	3	1
② 道徳科の授業に(を)、教頭先生が参加した。(行った。)	3	
③ 道徳科の授業に(を)、担任以外の教員が参加した。(行った。)	4	4
④ その他	3	1

5 道徳科の授業参観(公開授業・保護者向け授業参観)について

授業参観の実施状況	小学校数	中学校数
① 全学級実施した。(実施する予定である。)	4	3
② 全学級ではないが実施した。(実施する予定である。)	7	2
③ 実施する予定はない。		1
④ その他		



6 家庭や地域社会等との連携による道徳の指導について【複数回答可】

連携による道徳の指導の実施状況	小学校数	中学校数
① 保護者が授業に参加（参観のみは除く）した。	5	1
② 地域の人々が授業に参加（参観のみは除く）した。	1	
③ 保護者や地域の人々以外の方をゲストティーチャーとして招いた。	4	
④ ①～③などについて実施する予定はない。	1	5
⑤ ホームページや学級、学校便りで発信した。	8	2
⑥ その他（保護者アンケートを授業に活用。PTA総会で話題。）	1	

【R2指導の重点3】児童生徒の成長を受け止めて認め、励ます評価

7 道徳科の評価への取り組みについて

(1) 通知票への記載等について【複数回答可】

道徳科の評価	小学校数	中学校数
① 通知表に、通年1回記載する。	4	4
② 通知表に、通年2回記載する。	7	2
③ 通知表に、通年3回記載する。		
④ 通知表には記載していない。		
⑤ 面談等を通じて、本人や保護者に伝える機会をもつ。	1	1
⑥ その他		

(2) 評価のための資料を累積する方法について【複数回答可】

道徳科の評価	小学校数	中学校数
① ワークシートを活用して累積している。	9	5
② ノートを活用して累積している。	8	2
③ 座席表を活用して累積している。	1	
④ 教科書の書き込み欄を活用して累積している。	7	3
⑤ 資料の累積を行っていない。		
⑥ その他（内容：生徒のファイルに綴らせている。）		2

【その他】新型コロナウイルス感染症に係る指導について

8 新型コロナウイルス感染症に係る差別、偏見や親切、思いやり等について考える

道徳科授業について【複数回答可】

道徳科の評価	小学校数	中学校数
① 道徳科の授業として実施した。	7	6
② 道徳科以外の授業として実施した。	5	2
③ 授業以外の時間として実施した。	11	4
④ 実施していない。		
⑤ その他		

①で道徳科授業で使用した教材について【複数回答可】

- 新型コロナウイルス感染症に係るいじめ未然防止に向けた道徳科教材【小学校4／中学校2】  
○教科書教材【小学校5／中学校3】 ○その他の教材【中学校3】

〈考察〉

- 「特別の教科「道徳」として、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるなど、授業の質的転換が図られてきている。地域素材や人材の活用については、さらに推進していく必要がある。
- 新型コロナウイルス感染拡大により、各校においていじめの未然防止に向けた道徳教材等を活用して学校の実態に応じて授業を行った。
- 道徳教育推進委員会では、授業研究会を実施できなかったが、中学校区単位で児童生徒の実態を協議する場を設けたことが有効であった。

【指標 1-② (2)】 読書活動の推進

1 福島県読書に関する調査 (小1～中3 11月調査)

(1) 学校図書館の利用促進(貸出目標)目標値及び参考値としての令和2年度・令和元年度読書に関する調査結果

項目		目標値 (令和2年度～)	参考数値 (1か月の読書冊数)	
			令和元年11月	令和2年11月
学校図書館の 利用促進(貸 出目標)	小学校低学年	年40冊以上/人	16.4冊/人	12.8冊/人
	小学校中学年	年30冊以上/人	11.1冊/人	10.8冊/人
	小学校高学年	年20冊以上/人	8.6冊/人	7.3冊/人
	中学生	年10冊以上/人	2.4冊/人	3.0冊/人
	平均			9.6冊/人

(一か月に児童生徒一人当たりが読んだ本の冊数市平均値)

(2) 読書に関する調査結果経年変化



※各学校における小学校1～6年生、中学校1～3年生の平均を算出

〈考 察〉

- 各学校において朝の読書や親子読書、家庭読書の日、校内ビブリオバトル等の実践により、本を読む機会を意図的に設定し、読書推進を進めている。
- 小中学生一人あたりの一か月平均冊数は8.5冊である。これを1年間の読書冊数に換算すると102冊となる。
- 国語科で扱われる教材との並行読書や比べ読み、ブックトークなど、多様な読書活動を取り入れた読書指導を展開することで、読書の質の向上や興味関心の醸成に努めている。今年度は、校内予選を勝ち抜いた各校の代表者による、田村市中学生ビブリオバトル大会を開催した。今後も中学生の読書意欲をより高めたい。
- 学校図書支援スタッフを有効活用し、各学校における図書室の環境整備やビブリオバトルへの支援、児童生徒への読み聞かせ、ブックトーク等を行っている。ビブリオバトルへの支援は、教員の負担軽減にもつながっている。今後も学校図書館の活用促進、及び読書活動の推進に向けて積極的に活用していく。



【指標1-②(3)】体力の向上の支援

1. 全国体力・運動能力調査における田村市の状況

※ 新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年度は全国体力・運動能力調査の実施は見送りとなったため、データの比較ができない。

2. 各校の体力向上推進計画の実施状況

運動身体づくりプログラムの実施（小学校）	小学校11校 全クラスにおいて実施
業間等を利用した運動の機会の確保（小学校）	・朝（業間）マラソン・運動タイムの実施 ・陸上競技練習の工夫
部活動の改善と特設部の活動の工夫（中学校）	・特設陸上部と駅伝部の活動時間と参加人数の確保 ・部活動でのランニングや体力（体幹）トレーニングの取組
その他の体力向上の取組	コロナ禍の中で感染拡大防止対策を取りながら実施 ・体育専門アドバイザーの活用 ・外部講師（陸上・ダンス）の活用 ・スポーツ笑顔の教室の活用（オンライン教室） ・運動の楽しさを味わわせる体育授業の工夫 ・体育の合同授業とTTによる指導 ・体育行事での個人目標の設定と練習機会の確保 ・体力・運動能力テストでの個人結果の分析と活用 ・指導力向上のための校内研修と校外研修会への参加 ・肥満傾向改善のための食育の実践

〈考察〉

- 小学校では、日課表に体力づくりの時間を設け、体育の日常化に取り組んだ。外部講師の活用や体育授業のTTなど、効果的な指導と指導力向上の取組が実施された。
- 中学校では、特設陸上部や駅伝部の練習に年間をとおして取り組んだり、部活動の練習メニューを工夫したりして、学校全体の体力向上に意識して取り組んでいた。

3. 小学校陸上大会の参加者数

大会名	実施日	会場	参加者数
第1回田村地区小学校陸上競技大会	9月16日(水)	田村市陸上競技場	6年生275名 ※川内小5名含む

〈考察〉

- コロナ禍ではあったが小学校陸上競技大会への参加に向けて、感染拡大防止対策を講じながら各校の実態に応じて練習に取り組んだ。各個人に目標をもたせたり、計画的に練習に取り組ませたりするなど、体力向上の機会として大会を活用することがで

きた。

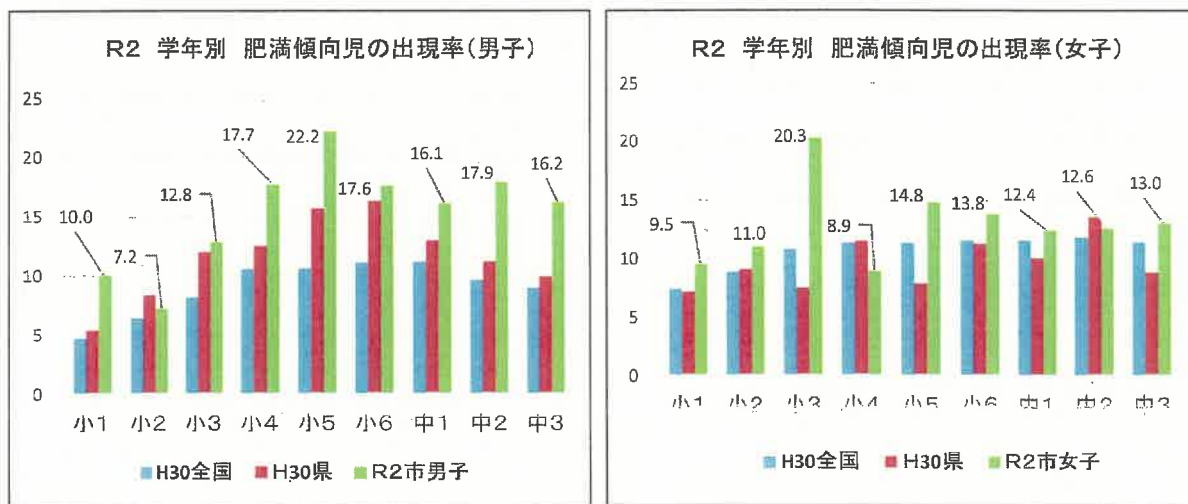
- 陸上大会では、多くの児童が自己記録を更新し、自分の設定した目標を達成することができた。

【指標1-②(3)】健康教育の推進

1. 放射線教育の実施状況

	学校数	教科領域	内容等
小学校	11	学級活動 理科	放射線って何だろう 放射線から身を守るために 環境創造センター見学(5年生)
中学校	6	学級活動 理科	科学技術と人間、放射線と放射能、内部被曝と外部被曝、半減期と放射線量、食物と放射線、放射線の人体への影響、除染、放射線と未来 等

2. 肥満傾向児の出現率



〈考察〉

- 各小中学校では、食育推進コーディネーターを中心に、毎日の給食指導を生かした食育や、養護教諭や給食センター栄養技師による「食に関する指導」などをおして、「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」を育成している。
- 市児童生徒の健康課題である「う歯罹患率」については、フッ化物洗口事業を実施している。(H29.1月～幼稚園・小学校、R1～中学校) また、歯科衛生士による歯科指導、家庭と連携したう歯治療の推進等により改善に努めている。「肥満傾向児出現率」については、全体的に全国平均、県平均よりも高く、食育の面からも、望ましい食習慣、運動を含めた生活習慣の改善にアプローチすることが必要である。

3. 食育に関する栄養技師の授業支援状況

対 象 (校種)	回 数
・市内幼稚園「食に関する指導」	1回
・市内小学校「食に関する指導」	64回
・市内中学校「食に関する指導」	5回
・個別指導・面談	18回

4. 薬物乱用防止教室及び思春期保健教室、歯科保健教室実施状況

各種教育	内 容	実施校
薬物乱用防止教室	◇外部講師活用	小学校 10 校・中学校 6 校
思春期保健教室	◇外部講師活用	小学校 11 校・中学校 6 校
歯科保健教室	◇外部講師活用	小学校 11 校・中学校 6 校

【指標 1－③（1）】 特別支援教育の充実

1. 特別支援教育にかかる相談，訪問等による支援

(1) 特別支援学校のセンター的機能の活用状況

切れ目のない支援体制整備事業の活用

	幼稚園 (こども園)	小学校	中学校	教育委員会	合計
「相談支援」	2園 2件	4校 10件			6校園 12件
「研修支援」	2園 2件	1校 1件		1件	3校園 4件

(2) 特別支援に関する研修会等の開催

- ・ 特別支援教育支援員研修会 1回
- ・ 心の教室相談員研修会 4回
- ・ 田村市特別支援教育推進連絡協議会（サポネット田村）2回

〈考察〉

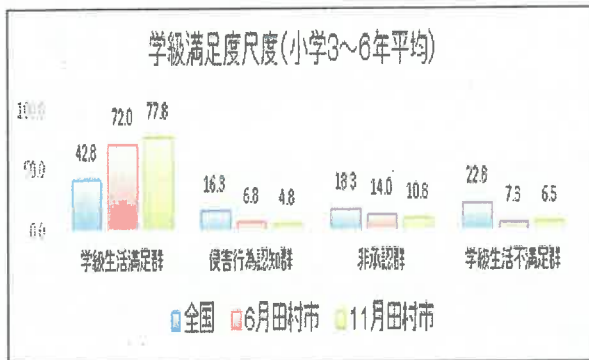
- 切れ目のない支援体制整備事業では，特別な支援を必要とする児童生徒への支援について指導助言をいただいた。昨年度と比較すると，今年度は中学校の活用はなく，全体的な件数は減ったが，幼稚園（こども園）の相談支援，研修支援の活用は増えた。たむら支援学校のセンター的機能により，専門的な知識や具体的な児童生徒への支援の方法の指導を受けることができるので，今後も「相談支援」「研修支援」をより積極的に活用していけるよう周知をしていくとともに，私立幼稚園・保育所へも活用を促していきたい。
- 未就学児の就学指導については，保健課と情報交換を図りながら，乳幼児育成指導事業「すくすく教室」での就学に関する学習会を実施したり，個別に教育相談を実施したりした。各園，各校で就学指導が計画的に進めることができるようにするために，今後，年度初めに特別支援学級見学等を実施したり，私立幼稚園や保育所に出向いて説明をしたりしていく。
- 田村市特別支援教育推進連絡協議会（サポネット田村）では，幼稚園と小学校の2事例のケース検討会を実施し，2事例とも大きな変容が見られた。本協議会は様々な関係機関から選ばれた委員で構成されているため，多様な視点から協議ができる場である。今後もニーズに応じたケース検討会を実施できるように，年度初めに「サポネット田村」の支援内容について各園・小・中学校に周知するようにする。

【指標 1－③（2）】 学校への適応指導の充実

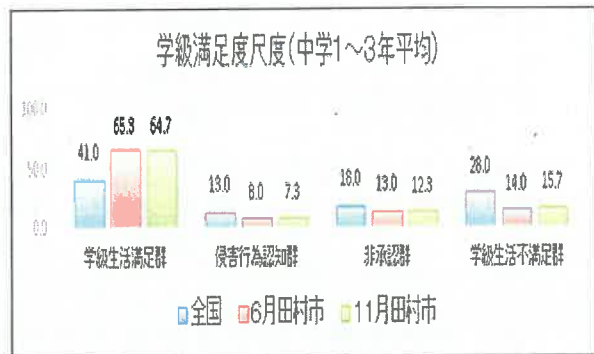
1. Q-U検査による学級満足度尺度及び学校生活意欲プロフィール

(1) 学級満足度尺度（6月→11月の変容）

①小学校 調査結果



②中学校 調査結果

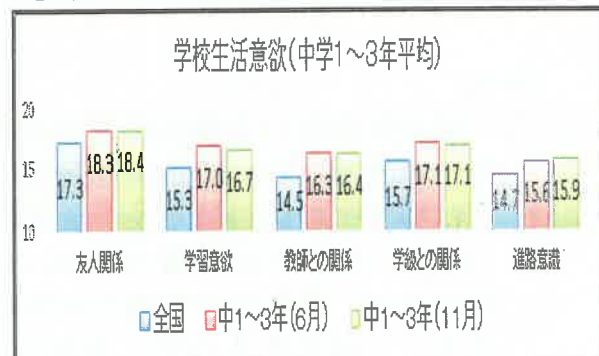


(2) 学校生活意欲（6月→11月の変容）

①小学校 調査結果



②中学校 調査結果



〈考察〉

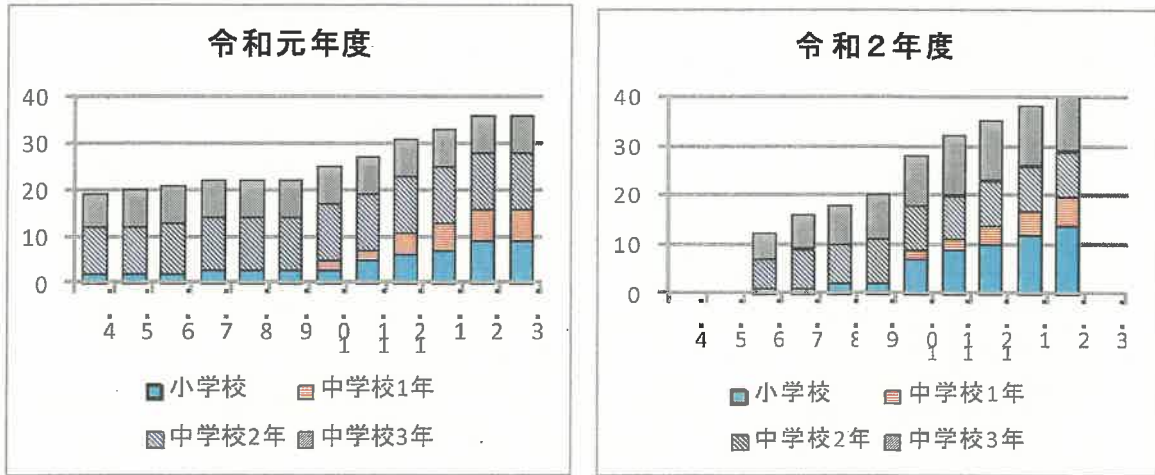
- 学級生活の満足度については、小学校においては、6月調査よりも5.8%増加した。11月調査は昨年度の10月調査と比較すると5.5%高い。中学校においては、11月調査の割合は6月調査よりは減少したものの、昨年度の10月調査と比較すると2.7%増加している。しかし、学級不満足群は15.7%と6月調査より増えている。

今年度は、4月、5月が新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休業となったが、各学校の取組により児童生徒一人一人を大切にされた学級経営が行われた結果であると推測する。今後も親和的な集団の中で、一人一人が認められるような学習を構築していくことが必要である。

- 学校生活意欲を見ると、小学校においては、「友達関係」「学習意欲」「学級の雰囲気」全ての項目において、11月調査は6月調査よりも0.1増加した。中学校では、昨年度の10月調査と比較すると全ての項目で増加している。また、11月調査の「友人関係」「教師との関係」「学級との関係」「進路意識」は6月調査よりも0.1増加している。しかし、「学習意欲」に関しては、どの学年も数値が減少している。（昨年度も1, 2年生の値が減少している。）生徒にとって、より「わかる・できる」授業、「学びを実感できる」授業の実践に努めていく必要がある。
- 今後もQ-U検査を活用して、教育相談のP（学級集団の分析、支援計画の作成）→D（支援策の実施、授業改善）→C（学級集団の分析、支援策の効果検証）→A（再支援策の実施）サイクルを学校全体で機能させるようにする。



## 2. 不登校の状況



### 〈考察〉

- 2月末現在の不登校数（30日以上欠席数）は、小学校が14名、中学校が28名、合計で42名である。学年別では、小学校では5年生が6名、中学校では中学3年生が12名と最も多い。小学校は10月から、中学校1年生は12月から増加傾向である。
- 今年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休業等があったため、令和元年度の同時期と一概には比較できないが、昨年度と比較して小学校5名増、中学校1増、計6名の増加である。
- 不登校児童生徒の防止については、未然防止と初期対応に重点を置いて対応する。未然防止では、集団づくりだけでなく、学びの実感ももてる魅力ある授業づくりに努め、学習が遅れている児童生徒に対しては個別的な学習支援を行うなど、新たな不登校の出現を防止するための継続的な対策が必要である。初期対応においては、「理解シート」「支援チームシート」等を活用してチームとして対応する。
- 不登校児童生徒の学校復帰に向け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携を図り、今後どのような方針のもとで、どのような支援を行っていくのかを保護者、関係者とともに模索し、具体的かつ実効ある支援を行っていく必要がある。

## 3. いじめの状況

令和2年度 いじめの認知件数（4月～2月）

433件（小学校 357件、中学校 76件）

いじめの認知件数0の学校 2校

### 〈考察〉

- 令和2年度4～2月までにおける田村市内小中学校のいじめ認知件数は433件となっており、各校においていじめの認知についての理解が進んでいることが読み取れる。また、いじめを積極的に認知し、その解消に向けて取り組んでいるといえる。
- いじめの認知0件の学校があるが、認知件数が0件であったことを児童生徒や保護者に公表し、検証を仰ぐことで、認知漏れがないかを確認していく必要がある。

- 学校いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止の指導とともに日常の観察やアンケート、教育相談等によるいじめの兆候の早期発見、早期対応を継続していく。

#### 4. 教育相談体制におけるSC, 心の教室相談員等の派遣実績

##### (1) 緊急スクールカウンセラー派遣実績(2月末現在)

	派遣日数	派遣時間	相談件数
滝根小学校	30	180	142
大越小学校	30	180	93
都路小学校	30	180	53
常葉小学校	30	180	132
船引小学校	30	180	62
滝根中学校	30	178	163
大越中学校	30	180	190
都路中学校	30	180	129
常葉中学校	31	180	168
船引南中学校	30	180	200
船引中学校	30	180	311

##### (2) 心の教室相談員派遣実績

	派遣日数	派遣時間	備考
船引小学校	39	150	
滝根中学校	28	100	滝根小を含む
大越中学校	52	200	大越小を含む
都路中学校	53	200	都路小を含む
常葉中学校	102	400	常葉小を含む
船引南中学校	46	179	船引南小, 芦沢小を含む
船引中学校	213	980	美山小, 緑小, 瀬川小を含む

##### (3) スクールソーシャルワーカー派遣実績

スクールソーシャルワーカーがかかわった件数41件, 学校数12校

##### 〈考察〉

- スクールカウンセラーは、不安や悩みを抱える児童生徒に対して教育相談等を行っている。児童生徒の実態に応じた丁寧な対応、児童生徒理解や適切な支援の仕方についての助言等、学校との信頼関係を深めることができている。
- 心の教室相談員は、学校生活や友人関係に不安を抱える生徒、相談室登校の生徒等に対し、信頼関係を築きながら適切に関わり、不安や悩みの解消に努めている。また、不登校傾向の生徒に対しては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を図りながら、担任を支えてチーム支援に努めている。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の役割を学校

全体で共通理解し、それぞれの立場でどのような支援を行っていくことが適切かをケースごとに明らかにし、チームとして取り組んでいくことが必要である。

#### 5. 田村市適応・支援教室（まごころ教室）の現状

今年度より田村市図書館において、心の教室相談員を中心に不登校あるいはその傾向を持つ児童生徒に生活に関する相談、学習の遅れを取り戻す指導、集団生活への適応に向けた援助等を行っている。心の教室相談員が主に援助を行い、学校支援指導主事も指導を行うことがある。

2月現在、市内の小学生1名（5年生1名）、中学生6名（2年生5名、3年生1名）の計7名が通級しており、在籍校と連携を図りながら自分のペースで学習している。

月ごとの在籍数

(人)

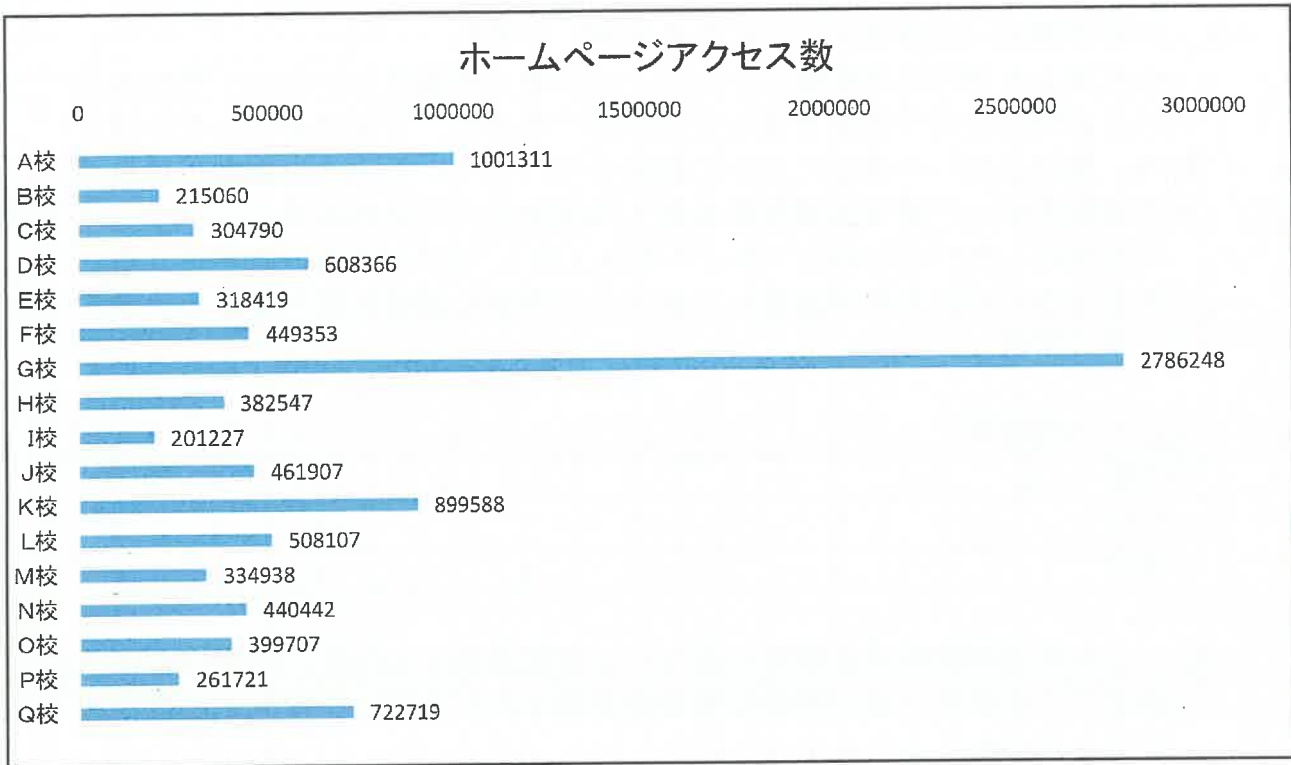
学校種	月	6	7	8	9	10	11	12	1	2
小学校		0	0	0	0	1	1	1	1	1
中学校		1	3	3	5	4	4	4	5	6

- 心の教室相談員が在籍校に出向いて情報交換をしたり、在籍校の担任がまごころ教室へ来て学習の様子を参観したりして、在籍校と連携を図ることができるようになってきた。
- S S W r に保護者や児童生徒の教育相談を行ってもらっている。また、S S W r が心の教室相談員のよきアドバイザーとなっている。

【指標 1-④ (1)】開かれた学校づくり

1 教育活動の積極的な公開

○ 学校ホームページの閲覧件数 (令和 2 年 3 月 4 日現在 14:00 現在)



【指標 1-④ (2)】田村市各中学校区における学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) 設置の進捗状況

(1) 令和 2 年 6 月 26 日 (金)

第 1 回常葉小中学校運営協議会

(主な内容) 委嘱状交付、常葉小中学校の学校運営について、  
今後の予定について

(2) 令和 2 年 8 月 3 日 (月)

学校運営協議会設置に向けた研修会

(主な内容) 学校運営協議会制度について、常葉地区の学校運営協議会について  
事例発表、今後の見通しについて

(3) 令和 2 年 9 月

各地区において学校運営協議会準備会実施

(主な内容) 学校運営協議会制度について、計画作成、組織検討

(4) 令和 2 年 11 月 6 日

常葉中学校における先進事例研修会

(内容) 各校校長及び代表者 1 名参加による常葉地区学校運営協議会の参観

(5) 令和 2 年 11 月～

各地区において学校運営協議会準備会実施

(主な内容) 設置要綱検討、組織案検討

(6) 令和 3 年 4 月 1 日

田村市全中学校区において学校運営協議会開始

※船引中学区においては、各校に学校運営協議会を設置するとともに、各校より 2 名の代表による学校運営協議会本部会を組織する。

【指標1-④(3)】特色ある教育による学校の魅力向上

(1) 特別非常勤講師(地域素材)の活用実績

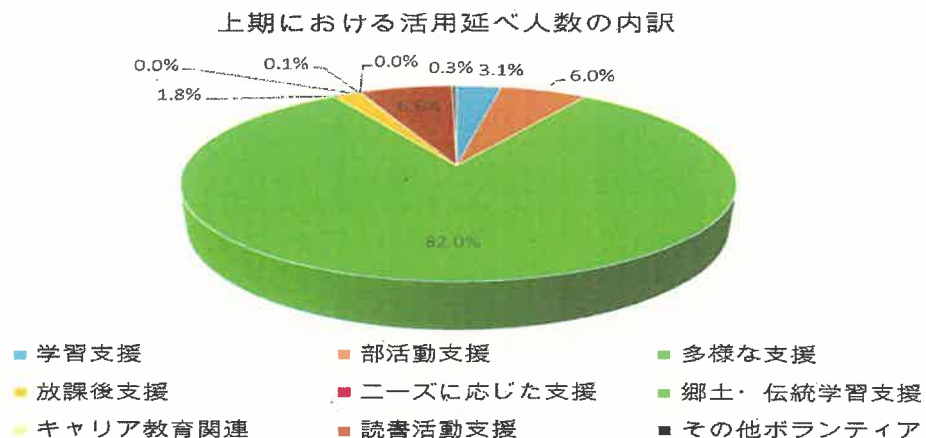
- 小学校 8校(他1校は新型コロナウイルス感染症の影響により実施見送り)  
70時間 のべ8名の人材活用
  - ・ 内容は、ダンス、箏、書道、伝承太鼓、稲作、茶道
- 中学校 4校 29時間 4名の講師
  - ・ 内容は、箏、剣道、料理

【指標1-④(4)】地域や保護者との連携や協力

(1) 地域ボランティアの積極的活用(令和2年9月の中間報告より)

田村市立幼稚園、小学校、中学校への地域本部事業の内容

- ① 総活用回数 893回
- ② 活用のべ人数 1,460人



【指標1-④(5)】こども議会

(1) 令和2年10月25日(日)

場所: 田村市役所107多目的ホール

各小中学校を代表するこども議員17名が参加し、4回の事前研修会を実施しながら、所属する班の中で提案の検討を重ねた。

こども議員の提案は、大型商業施設の建設、観光のPR、市施設の充実、お年寄りと子どもの交流、小中学校のスポーツ環境、医療的ケア児を受け入れる施設、農業後継者を増やすための農業体験、田村市の交通機関の充実、音楽を中心とした芸術・文化の拡充など、多岐に渡るものであった。

【指標1-④(6)】F2サミット

(1) 令和2年7月30日(木)~31日(金) 2日間

場所: 田村市内

被災12市町村の中学生を対象としてふるさとを見つめ、ふるさとのこれからについて考える機会とする予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた。

〈考察〉

各学校とも、コロナ禍の影響を受けつつも、地域ボランティアの活用を図り、教育活動を保護者や地域にホームページを含め、積極的に公開することを通して、地域との連携・協力体制の強化を図りながら、教育活動の充実に努めている。特に令和2年4月1日より、田村市における学校運営協議会制度の施行に伴い、そのモデルケースとして常葉小中学校運営協議会が立ち上がり、活動を開始しており、各中学校区において、常葉地区を参考に準備会を立ち上げ令和3年4月1日より本市全中学校区において実施する予定である。

今後も、学校を支える地域の仕組みを最大限に発揮できるよう、実践を通じた制度を整えていく必要がある。

子ども議会は今年度で3回目となるが、身近な生活の中から感じた素朴な疑問を、小中学生ならではの視点で提案としてまとめ上げた、示唆に富む内容であり、子ども達がだれもが住みやすい、明るく活気ある田村市にしようと真剣に考えていることに頼もしさを感じた。

F2サミットが実施できなかったのは非常に残念であった。震災より10年が経とうとしており、次年度は是非とも実施し、子ども達に「ふるさとの在り方」について考えていく機会としたい。

【指標 1－⑤（1）】教職員の指導力の向上

1. 計画訪問等の実施状況

訪問種 月	計画訪問				要請訪問				個別支援訪問				合計
	幼稚園	小学校	中学校	小計	幼稚園	小学校	中学校	小計	幼稚園	小学校	中学校	小計	
4月				0				0				0	0
5月				0				0		1	3	4	4
6月				0		3		3		3	8	11	14
7月				0		4		4		16	8	24	28
8月		14	16	30				0		8	3	11	41
9月		10	29	39		2		2		30	2	32	73
10月	5			5		3		3		29	11	40	48
11月		24		24		3	2	5		20	7	27	56
12月	3	11	11	25		2		2	1	3		4	31
1月				0				0		3		3	3
2月				0				0		7	4	11	11
3月				0				0				0	0
合計	8	59	56	123	0	17	2	19	1	120	46	167	309

(訪問者延べ人数)

- ※1 「計画訪問」は、管理運営に関する訪問または教育指導に関する訪問で、市教委が計画し、  
 県中教育事務所に管理主事・指導主事等の派遣要請等を行って実施しているものである。
- ※2 「要請訪問」は、校内授業研究会、小・中連携授業研究会、小教研、中教研等の要請による  
 ものである。
- ※3 「個別支援訪問」は、各学校の学力向上や生徒指導、障がいを持つ児童生徒のニーズに応じ  
 た指導方法、教育相談などについて該当校と改善に向けた協議等を行うものである。

〈考察〉

- 計画訪問では、教育大綱（振興推進プログラム）の進捗状況を把握するとともに、各学校の教育活動及び施設設備等の管理全般にわたって改善・努力を要する事項等について協議及び助言・指導を行った。各学校において教育活動を全般にわたって見直す機会になるなど適切な学校運営を支援することができた。
- 要請訪問では、校内授業研究会や小・中連携授業研究会を中心に授業改善・学力向上へつながる積極的な支援ができた。
- 個別支援訪問では、学校支援指導主事の派遣により、算数・数学、外国語活動・外国語の授業改善、教員個々の指導力の向上を図るために、複数回にわたり継続して指導を行うことができた。また、生徒指導や特別支援教育においては、学校の要請により実態に応じた支援を行うことができた。

【指標 1-⑤ (2)】 服務倫理の確立と働き方改革

1 田村市立小・中学校の服務倫理委員会の開催状況及び内容

(1) 校内服務倫理委員会開催状況

年間開催回数	8回	10回	11回	12回	13回	市内のべ回数
学校数	2校	6校	4校	4校	1校	181回

(2) マンネリ化を防ぐための外部講師の活用事例

- ① 警察署員を招聘した例 (9校)
  - ・交通事故防止、交通規則の遵守等の講話
  - ・子どもを虐待から守る方法や保護者のクレーム対応、精神疾患のある保護者の対応等
- ② 郵便局員を招聘した例 (1校)
  - ・教職員の不祥事防止についての講話
- ③ PTAや学校評議員を活用した例 (4校)
  - ・校内での服務倫理委員会や不祥事防止の内容報告及びご意見聴取
  - ・企業等における不祥事防止の取組の考え方
  - ・PTA会長を招聘した「セクハラ・わいせつ行為防止」の研修

2 勤務の適正化

(1) 公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン

(平成31年1月25日文科科学省)

勤務時間に関する事項

勤務時間の上限の目安

- ① 正規の勤務時間以外の在校時間は45時間を超えない
- ② 1年間については①の合計が360時間を超えない

特例的な扱い

- ③ 上記②で720時間を超えない、45時間以上が6月まで
- ④ 上記①1か月で100時間未満、連続する複数月の月の平均が80時間を超えない

田村市の概要 (本務者)

	小学校教頭		中学校教頭		小学校教諭		中学校教諭	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
① を (平均で) 満たしている	18%	27%	0%	0%	71%	67%	32%	43%
② を1月時点で満たしている	0%	0%	0%	0%	48%	46%	39%	31%
③ 1月時点で見たしている	27%	55%	0%	0%	68%	58%	35%	38%
④ を満たす	82%	82%	33%	17%	98%	93%	73%	78%

令和3年1月時点のもの。以降変動する可能性あり



(2) 各学校における勤務適正化への主な取り組み事案

- ① 会議等の在り方改善、時間の短縮、内容の精選
  - ・ 会議の回数を減らすため、複数の会議を同日開催
  - ・ 連絡事項は回覧や掲示板を利用
  - ・ 資料の事前配付による説明時間の短縮
- ② 文書事務等の簡素化
  - ・ 文書データの共有
  - ・ 学校行事実施案等のペーパーレス化実施または検討
  - ・ 手書き文書の削減 ※PCによる成績処理や通知表作成、指導要録への記入
- ③ その他の取組
  - ・ 声かけや視覚化により教職員の退勤時刻の意識付け
  - ・ SSS（スクール・サポート・スタッフ）等、外部人材の活用

(3) 部活動指導員の配置状況

① 部活動指導員の活用実績

- 市内2つの中学校に5名の部活動指導員を配置し、サッカー、野球、卓球の指導に当たってもらっている。

〈考察〉

- 各学校において、サービス倫理委員会が計画的に開催されており、各学校の教職員の実態や他地区で起こった事案をもとに、確実に実施されているものとする。
- 各校において、不祥事を他人事を自分事としてとらえることができるようにするために内容や方法を工夫したり、学校評議員や地域住民、保護者等、外部からの意見を取り入れたりした事例が見られた。また、今年度は校長を対象として、弁護士を講師に招聘し、近年課題となっている保護者対応やいじめ等における学校の対応を法的に解釈してもらうサービス倫理対策委員会を実施した。
- 教職員の働き方改革については、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4～5月に学校が臨時休業になったこと、行事等教育活動の見直しが図られ、例年夏休み前に実施されていたものを夏休み以降に実施せざるを得なかったこと、それに伴い行事等の在り方について、再検討する時間が必要となったこと等、例年通りにいかなかったこともあるが、小学校教頭と中学校教諭の多忙化解消が図られていることが数字として見られる。今年度行った行事の簡素化が次年度以降の各校のスタンダードになるよう、お願いしているところである。  
今後も、教職員一人一人のタイムマネジメント力（時間の使い方の改善によって、仕事の効率化を図る力）を向上させるとともに、会議のペーパーレス化、校務支援システムの導入検討、業務の適正化をより一層進めていく必要がある。
- 外部人材等を活用しながら、勤務時間の適正化を図る学校が多くなっており、地域と連携して教員の子どもに向き合う時間の確保に努めていかなければならない。

## 2 生涯学習の充実

### ① 公民館の活性化を図ります

#### (1) 学級講座の充実

- ◇ 市民のニーズを捉えた学級講座の企画
  - ・学級講座の評価と再検討
  - ・学習ニーズアンケート調査の実施と結果の分析
  - ・共同開催する学級講座の企画

#### (2) 公民館運営の活性化

- ◇ 市民に愛される公民館づくり
  - ・管理運営体制の検証
  - ・市民に愛される公民館の管理運営の検討

#### (3) 生涯学習等複合施設の整備

- ◇ 文化・学習活動や交流施設の整備に向けた構想の策定
  - ・ワークショップ等の開催

### ② 放課後子ども教室事業を推進します

#### (1) 放課後子ども教室（めだかの学校）の推進

- ◇ 放課後子ども教室の円滑な運営
  - ・実施校の継続
- ◇ コーディネーター及び指導員の育成と確保
  - ・コーディネーターの育成
  - ・指導員の育成                      ・指導員の確保
- ◇ 放課後子ども教室の周知及び広報
  - ・「教室だより」や「めだかの学校通信」の発行

### ③ 学校支援活動（地域学校協働活動）事業の推進を図ります

#### (1) 学校支援活動事業の円滑な実施

- ◇ 学校支援活動事業の推進
  - ・学校支援地域本部会議及び地域教育協議会の開催
- ◇ 地域の人材活用体制の整備
  - ・コーディネーターの育成                      ・ボランティアの有効活用
  - ・ボランティアの確保と資質向上
- ◇ 学校支援活動事業の周知及び広報
  - ・学校支援地域本部だよりの発行

### ④ 図書館の機能を充実します

#### (1) 図書館の機能充実

- ◇ 利用促進に向けた図書館資料及び機能の充実
  - ・ニーズに合わせた蔵書の確保
  - ・蔵書検索や貸出予約の利便化
  - ・テーマ・年代別図書コーナーの設置
  - ・自主事業の充実                      ・図書館ボランティアの育成推進
- ◇ 子どもの強く生きぬく力を育むための読書活動の推進
  - ・田村市子ども読書活動推進計画の実践
  - ・子どもが利用しやすい館内環境の整備
  - ・学習支援機能の充実
  - ・家庭における子どもの読書活動推進のための支援
- ◇ 図書館事業の周知
  - ・市民等への広報

## 3 芸術文化活動の推進

### ① 多様な芸術文化活動を支援します

#### (1) 芸術文化活動への支援

- ◇ 様々な芸術文化活動への支援
  - ・芸術文化団体及び活動への支援
  - ・各地区文化祭や芸能祭への支援

#### (2) 文化センターを活用した芸術文化の提供

- ◇ 質の高い自主文化事業等の実施
  - ・文化センター運営委員会の開催
  - ・小中学校芸術鑑賞教室の開催
- ・市民による身近な芸術文化の提供                      ・市民等への広報

## 4 文化財の保存と継承

### ① 地域に遺された文化財の保存と継承を推進します

#### (1) 文化財の保存と継承

- ◇ 文化財の保存と継承
  - ・文化財保護審議会の開催と県文化財保護指導者研修会への参加
  - ・指定文化財の防災訓練と防火査察の実施
  - ・指定文化財の周知
  - ・無形民俗文化の保存と伝統芸能の継承
  - ・田村市史シリーズの継続発行

#### (2) 地域の歴史を学び親しめる施設の整備

- ◇ 歴史民俗資料館の活用と文化財保存施設の整備
  - ・歴史民俗資料館の活用促進                      ・文化財保存施設の整備

## 5 スポーツ・レクリエーション活動の推進

### ① 幅広い年代が親しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進します

#### (1) スポーツ・レクリエーション大会の推進

- ◇ 運動公園内施設によるスポーツ交流人口の拡大
  - ・国内外からの高校や大学、社会人チームの合宿誘致
  - ・県レベル各種大会の誘致                      ・施設のPR
  - ・クロスカントリーコースの利活用

- ◇ 田村富士ロードレース大会の推進と参加者拡大
  - ・学校やスポーツ団体との連携による参加者の拡大

- ◇ ふくしま駅伝への参加と記録への挑戦
  - ・年間を通じた質の高い練習とスタッフの確保

#### (2) スポーツ・レクリエーションを通じた交流の推進

- ◇ 小中学生対象のスポーツ大会や講習会等の開催
  - ・ソフトボール大会                      ・スポーツ少年団本部長杯大会
  - ・かぶと虫杯スポーツ大会                      ・ビートル駅伝大会
  - ・グリーンパーク杯争奪少年スポーツ大会
  - ・スポーツ教室

#### (3) 活動を支える充実した指導体制の確立

- ◇ 指導者対象の研修会や講習会の開催
  - ・スポーツ推進委員研修会・講習会                      ・スポーツ講演会

#### (4) ネパールとの交流事業の推進

- ◇ ネパールとの交流事業の実施
  - ・事前合宿の実施                      ・スポーツ交流や文化交流の開催

## 2 教育振興推進プログラムダイジェストⅡ（生涯学習課所管事業）

### 2 生涯学習の充実

#### 施策目標2－①「公民館の活性化を図ります。」

生涯学習に対する市民の意欲向上を図るため、それぞれの地域における多様なニーズを捉えた特色のある学級講座を企画するとともに、市民同士の交流機会を拡充するため、各公民館共同での学級講座開催や地域外市民の参加も検討するなどして、公民館の活性化を図ります。

また、誰もが気軽に訪れることができ、身近に利用しやすい市民に愛される公民館づくりを推進します。

##### 指標2－①（1）－1：市民のニーズを捉えた学級講座の企画

- ・学級講座の評価と再検討
- ・学習ニーズアンケート調査の実施と結果の分析
- ・共同開催する学級講座の企画

##### 指標2－①（2）－1：市民に愛される公民館づくり

- ・管理運営体制の検証
- ・市民に愛される公民館の管理運営方法の検討

##### 指標2－①（3）－1：文化・学習活動や交流施設の整備に向けた構想の策定

- ・ワークショップ等の開催

#### 施策目標2－②「放課後子ども教室事業を推進します」

子どもたちが学年の垣根をこえて、共に遊び・学びあうことにより、心豊かで健やかに育まれる環境を提供するために、地域の方々の協力を得て見守りを行うとともに、安全・安心な居場所を設置し、健全な児童の育成を行います。

##### 指標2－②（1）－1：放課後子ども教室の円滑な運営

- ・反省を生かした実施校の継続

##### 指標2－②（1）－2：コーディネーター及び指導員の育成と確保

- ・コーディネーターの育成
- ・指導員の育成
- ・指導員の確保

##### 指標2－②（1）－3：放課後子ども教室の周知及び広報

- ・「教室だより」や「めだかの学校通信」の発行

## 【参考資料】

### (1) 令和2年度田村市放課後子どもプラン事業報告について

#### ①放課後子どもプラン運営委員会事業報告

開催期日	開催場所	事業名	内容	備考
6月30日(火)	田村市役所	第1回運営委員会	委員委嘱、令和2年度事業計画など	委員8名出席
7月	各教室	昔遊び体験事業	昔の玩具を配布	事務局対応
9月15日(火)	滝根小学校	県中教育事務所放課後子ども教室訪問	滝根めだかの学校活動状況視察の対応	事務局対応
9月28日(月)	美山小学校	県中教育事務所放課後子ども教室訪問	美山めだかの学校活動状況視察の対応	事務局対応
10月1日(木)	常葉小学校	県中教育事務所放課後子ども教室訪問	常葉めだかの学校活動状況視察の対応	事務局対応
10月15日(木)	田村市役所	第2回運営委員会	令和2年度事業進捗状況報告など	委員7名出席
10月15日(木)	田村市役所	田村市社会教育関係者合同研修会	県中教育事務所・高宮氏による講話	
11月19日(木)	田村市役所	放課後子ども教室コーディネーター・指導員等研修会	演習、情報交換	コーディネーター・安全管理員29名出席
3月中旬	田村市役所	第3回運営委員会	令和2年度事業報告 など	書面開催
3月中旬		広報紙「めだかの学校通信」Vol. 23発行	広報紙の発行	

#### ②放課後子ども教室推進事業（めだかの学校）実施報告

##### ○めだかの学校実施状況について

	名 称	開催期間	開催日数	全児童数	登録児童数 (2月末現在)	参加率	延参加児童数 (2月末現在)
1	滝根めだかの学校	R2年4月8日～R3年3月9日	97	168名	136名	81%	5,151名
3	常葉めだかの学校	R2年4月13日～R3年3月10日	124	222名	63名	28%	5,654名
4	芦沢めだかの学校 (芦沢幼稚園含む)	R2年4月7日～R3年3月19日	140	41名	41名	100%	3,133名
5	船引南めだかの学校 (船引南幼稚園含む)	R2年4月10日～R3年3月15日	93	106名	66名	62%	4,008名
6	美山めだかの学校	R2年4月16日～R3年3月12日	127	50名	50名	100%	3,891名
7	緑めだかの学校 (緑幼稚園含む)	R2年4月7日～R3年3月10日	145	56名	56名	100%	6,085名
8	瀬川めだかの学校	R2年4月8日～R3年3月19日	163	31名	31名	100%	4,365名
9	要田めだかの学校	R2年6月1日～R3年3月19日	117	48名	48名	100%	1,410名
	計		1,006日	722名	491名	68%	33,697名

## 施策目標 2-③ 「学校支援活動事業の推進を図ります」

子どもたちの健全育成を図るため、地域全体で学校を支えることができるよう、学校と地域との連携体制を構築し、学習支援活動や登下校の安全確保のための活動等、地域住民による積極的な学校支援の取り組みを促進し、教員の子どもと向き合う時間の増加や住民等の学習効果の活用機会の拡充及び地域教育力の活性化を図ります。

### 指標 2-③ (1) - 1 : 学校支援活動事業の推進

- ・学校支援地域本部会議及び地域教育協議会の開催

### 指標 2-③ (1) - 2 : 地域の人材活用体制の整備

- ・コーディネーターの育成
- ・ボランティアの有効活用
- ・ボランティアの確保と資質向上

### 指標 2-③ (1) - 3 : 学校支援活動事業の周知及び広報

- ・学校支援地域本部だよりの発行

【参考資料】

(1) 令和2年度学校支援事業報告について

① 田村市学校支援地域本部事業報告

1) 事業内容報告

事業名	実施日	場所	内容等
各地域教育協議会	4月～5月	各公民館等	委嘱状交付
第1回学校支援地域本部会議	7月14日(火)	田村市役所	R2事業計画、評価等に係る協議等 (委員19名出席)
第1回田村市コーディネーター・ 担当者情報交換会	7月14日(火)	田村市役所	関係者による情報交換
地域学校協働研修会 (県主催事業)	8月5日(水)	たまかわ文化会館	講演、事例発表等 (7名出席)
第2回学校支援地域本部会議	11月25日(水)	田村市役所	R2事業進捗状況等 (委員16名出席)
第2回田村市コーディネーター・ 担当者情報交換会	11月25日(水)	田村市役所	関係者による情報交換
地域学校協働活動事業推進 フォーラム(県主催事業)	1月28日(木)	田村市役所 (Web会議)	講演、事例発表等 (7名出席)
第3回学校支援地域本部会議	3月19日(金)	田村市役所	R2事業報告、R3事業計画等
第3回田村市コーディネーター・ 担当者情報交換会	3月19日(金)	田村市役所	関係者による情報交換

2) ボランティア支援実績(滝根・大越・都路・常葉・船引・移・船引南地域合計 ※R3.3月末)

種別	内容	延べ 実施回数	ボランティア 延べ人数
学習支援 ボランティア	学校の教育活動における各教科の学習 支援	55回	125名
部活動支援 ボランティア	部活動支援(野球・卓球・ソフトボール・剣道 ・ソフトテニス)	243回	433名
学校に対する多様な 支援ボランティア	登下校の見守り、環境整備、遠足などの 引率等	1,675回	2,952名
放課後等における 学習・体験活動 ボランティア	放課後や土曜日、長期休業中の学習支援、 放課後子ども教室や児童クラブにおける 体験活動支援等	1回	1名
多様な教育的ニーズの ある子どもたちへの 支援ボランティア	外国出身者支援、特別な支援が必要とする児童 生徒への支援、ノートイク支援、病院訪問学習 支援	1回	2名
郷土学習・伝統文化 芸能支援ボランティア	地域に伝わる踊り、祭り、楽器支援等	15回	47名
家庭教育支援 ボランティア	PTA総会や学校の就学児健康診断時 における子育てに関する講演等	0回	0名
キャリア教育・職場 体験支援ボランティア	職場体験等	0回	0名
読書活動支援 ボランティア	読み聞かせやブックトーク等子ども の読書活動支援	128回	189名
その他ボランティア	その他の支援	7回	7名
	合計	2,125回	3,756名

## 施策目標 2-④ 「図書館の機能を充実します」

幼児から高齢者、障害を持つ方にも対応した利用しやすい身近な図書館を目指し、ニーズに対応した蔵書の充実をはじめ、市内外図書館とのネットワーク化、大学図書館などとの相互協力、ユニバーサルデザイン化を進めます。

図書館機能を最大限に活用するため、県内外の事例を参考にしながら、学校図書館への支援や親子で交流する場の創出、ホームページからの貸出予約など効率的な運営管理に取り組みます。

### 指標 2-④ (1) - 1 : 利用促進に向けた図書館の資料及び機能の充実

- ・ ニーズに合わせた蔵書の確保
- ・ 蔵書検索や貸出予約の利便化
- ・ テーマ・年代別図書コーナーの設置
- ・ 自主事業の充実
- ・ 図書ボランティアの育成推進

### 指標 2-④ (1) - 2 : 子どもの強く生きぬく力を育むための読書活動の推進

- ・ 田村市子ども読書活動推進計画の実践
- ・ 子どもが利用しやすい館内環境の整備
- ・ 学習支援機能の充実
- ・ 家庭における子どもの読書活動推進のための支援

### 指標 2-④ (1) - 3 : 図書館事業の周知

- ・ 市民等への広報

【参考資料】

※R3.2.28現在

図書館

区分	事業名	対象	期日	場所	実績及び予定
おはなし会	学習支援	市立小中学校	年間	全館	参考業務・所蔵調査・見学学習 見学 16回 344名参加 デュアル実習生 2名受入れ
	ひだまりおはなし会 (定例おはなし会)	0歳～2歳と保護者	毎月第1・第3金曜	本館	おはなし会ボランティアによる読み聞かせ会 11回 18名参加
	おはなしの広場 (特別おはなし会)	幼児・児童・保護者	年2回 (夏・冬)	本館	工作等のお楽しみ会とおはなし会 夏・冬ともに中止
	春の特別おはなし会 (こども読書週間事業)	児童	未定	本館	絵本の読み聞かせ、朗読、素読みなど 中止
	夏の怖いおはなし会 (特別おはなし会)	児童	年1回(8月)	本館	昔話や伝承の語り、絵本等の読み聞かせ 中止
	大人のためのおはなし会	学生・一般 (15名～20名)	年2回	本館	絵本の読み聞かせ、朗読、素読みなど 中止
	シニア向けおはなし会	一般	随時	本館	老人会や、社会福祉団体の依頼を受け、高齢者向けに読み聞かせや、民話語りを実施
	児童施設おはなし会	幼児・保護者	調整中	船引保育所・子育て支援センター・私立こども園、保育園等	おはなし会ボランティアによる読み聞かせ等 保育所等 5回 93名参加
	学校支援おはなし会	児童	調整中	船引地区内小学校・幼稚園	小学校 24回 455名参加 幼稚園 3回 34名参加
おはなし会ボランティアの育成(ボランティア連絡会開催)	ボランティア・一般	年間 (年1回)	本館・市役所等	おはなし会開催のための人材育成と確保(市内で活動する読み聞かせボランティア団体の意見交換や全体研修のための会議)	
田村市図書館本館	ブックスタート事業	乳児・保護者	4ヶ月・10か月児健康診査 (月1回)	船引保健センター	こども未読、保健課と連携したブックスタートの推進及びフォローアップ 4か月児 10回 305名参加 10か月児 10回 326名参加
	田村市図書館ブックスタートサポーター事業	ブックスタートサポーター	年1回	船引保健センター・本館	田村市図書館ブックスタートサポーターの運営と育成のための研修等の実施
	めぐせ!図書館員講座	市内小・中学生 (4名～10名以内)	7月～11月 (全6回) 1講座2時間	本館	図書館の仕事を通して学校図書館や地域で利用の推進者となる人材を育成する 参加者 8名 全5回開催
	こども語り手養成講座	市内小・中学生 (4名～10名以内)	7月～11月	本館	地域に伝わる昔話を伝承する若い人材の育成 中止
	自主事業(講演会) (秋の読書週間事業)	一般・ボランティア	10月～11月	船引公民館ホール (予定)	地域の読書活動を推進することを目的とした講演会等の実施 11月22日 43名参加
滝根分館	定例おはなし会	乳幼児・保護者	年9回程度	滝根公民館	担当者及びボランティアによる読み聞かせ 6回 54名
	特別おはなし会 (冬のおはなし会)	乳幼児・保護者 小学生低学年		滝根公民館	公民館事業連携開催 12月12日 31名参加
	児童施設おはなし会		年4回程度	滝根保育所 三世交代流館	ボランティアによる読み聞かせ 実績なし
	学校支援おはなし会	幼児・児童	随時	滝根幼稚園・小学校等	実績なし
大越分館	定例おはなし会	小学生低学年	年6回程度	大越公民館	ボランティアによる読み聞かせ 児童クラブ5回186名参加
	特別おはなし会 (冬のおはなし会)	乳幼児・保護者 小学生低学年		大越公民館	公民館事業連携開催 (のびのびチャレンジ) 12月25日 44名参加
	児童施設おはなし会	幼児	年6回程度	大越こども園保育部	こども園(保)1回49人
	学校支援おはなし会	幼児・児童	調整中	大越こども園幼児教育部・小学校等	こども園(幼)1回36名参加 小学校 2回48名参加
都路分館	特別おはなし会	幼児・児童・一般	年2回 (夏・冬)	都路公民館	公民館と連携し、読み聞かせやクラフト工作などを行う 実績なし
	児童施設おはなし会	幼児	年10回程度	都路こども園保育部	ボランティアによる読み聞かせ 実績なし
		児童	年10回程度	都路こども園児童館	こども園(児童館)4回78名
	学校支援おはなし会	幼児・児童	調整中	こども園幼児教育部・小学校等	実績なし
常葉分館	定例おはなし会	乳幼児・保護者	毎月第3水曜	常葉公民館	担当者及びボランティアによる読み聞かせ 実績なし
	特別おはなし会	小学生低学年		常葉公民館	常葉小2年生 2回39名
	児童施設おはなし会	幼児・児童	調整中	常葉保育所	ボランティアによる読み聞かせ 実績なし
	学校支援おはなし会	幼児・児童	調整中	常葉幼稚園 小学校等	小学校6回229名参加



### 3 芸術文化活動の推進

#### 施策目標 3-①「多様な芸術文化活動を支援します。」

質の高い芸術文化や伝統文化に日ごろから親しむことで、心豊かな人間性を育みます。また、市民が地域の芸術文化の担い手となり、地域文化の創造を通じて地域を活性化する活動を支援します。

#### 指標 3-①(1)：様々な芸術文化活動への支援

- ・芸術文化団体活動への支援
- ・各地区文化祭や芸能祭への支援

#### 指標 3-②(1)：質の高い自主文化事業等の実施

- ・文化センター運営委員会の開催
- ・小中学校芸術鑑賞教室の開催
- ・市民による身近な芸術文化の提供
- ・市民等への広報

#### 【参考資料】

##### 小・中学生芸術鑑賞教室実績

事業名	実施月日	回数	対象学年	参加者数（引率者含む）
小学生芸術鑑賞教室 「古典芸能鑑賞会」	6月3日	2	5・6年生	コロナの影響により中止
中学生芸術鑑賞教室 「オーケストラ鑑賞会」	7月1日	1	2年生	コロナの影響により中止

##### 次代を担う子どもの文化芸術体験事業実施校

事業名	学校名	実施月日	公演・体験内容
巡回公演事業 (2校応募で2校採択)	都路小	7月8日	能楽
	美山小	10月6日	デジタルアート
派遣事業 (1校応募で1校採択)	船引小5年	9月15日	舞踊 ヒップホップダンス
	船引小4年	9月29日	
	船引小6年	10月6日	

##### 文化センター自主文化事業実績

事業名	実施月日	回数	入場者数等
お化け屋敷	7月延期 11月中止	1	中止
市民講演会	1月頃予定	1	中止
綾小路きみまろ笑撃ライブ	3月14日	1	中止

## 4 文化財の保護と継承

### 施策目標4-①「地域に遺された文化財の保存と継承を推進します。」

貴重な郷土の財産である文化財に対する市民の関心を高めながら、歴史資料の保存や発掘、無形民俗文化財を伝承する人材の育成などを推進します。

#### 指標4-①(1)：文化財の保存と継承

- ・文化財保護審議会の開催と県文化財保護指導者研修会への参加
- ・指定文化財の防災訓練と防火査察の実施
- ・指定文化財の周知
- ・無形民俗文化の保存と伝統芸能の継承
- ・田村市史シリーズの継続発行

#### 指標4-②(1)：歴史民俗資料館の活用と文化財保存施設の整備

- ・歴史民俗資料館の活用促進
- ・文化財保存施設の整備

## 5 スポーツレクリエーション活動の推進

### 施策目標5-①「幅広い年代が親しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。」

市民の健康増進・体力向上のために、スポーツ活動の拠点となる運動公園内の施設を利用した室内外の競技スポーツ交流人口の拡大と「市民がスポーツをする」機会を増やし、スポーツの盛んな明るい地域社会づくりを図ります。

また、公式大会を誘致し、市民が身近で「スポーツを見る」楽しさに目覚め、「スポーツをする」契機に発展していけるように推進を図ります。

#### 指標5-①(1)：運動公園内施設によるスポーツ交流人口の拡大

- ・国内外からの高校や大学、社会人チームの合宿誘致
- ・県レベル各種大会の誘致
- ・施設のPR
- ・クロスカントリーコースの利活用

#### 指標5-①(2)：田村富士ロードレース大会の推進と参加者拡大

- ・学校やスポーツ団体との連携による参加者の拡大

#### 指標5-①(3)：ふくしま駅伝への参加と記録への挑戦

- ・年間を通じた質の高い練習とスタッフの確保

#### 指標5-②(1)：小中学生対象のスポーツ大会や講習会等の開催

- ・ソフトボール大会、・スポーツ少年団本部長杯大会
- ・かぶと虫杯スポーツ大会、・ビートル駅伝大会
- ・グリーンパーク杯争奪少年スポーツ大会
- ・スポーツ教室

#### 指標5-③(1)：指導者対象の研修会や講習会の開催

- ・スポーツ推進員研修会・講習会
- ・スポーツ講演会

#### 指標5-④(1) ネパールとの交流事業の実施

- ・事前合宿の実施
- ・スポーツ交流や文化交流の開催

【参考資料】

運動公園 合宿利用実績 (R2)

施設	団体
運動公園	利用実績なし

運動公園 県大会等利用実績 (R2)

施設	団体
総合体育館	県南バスケットボール協会県中地区 U12 部会 第 35 回優勝大会地区予選 予選リーグ(1 日) 決勝リーグ(1 日)
	県中地区ふれあいニューススポーツ交流大会 (1 日)
	福島雇用促進支援事業「ドローン講習」個人向け
	U15 ジャパンクラブバスケットボールゲーム福島県予選 (1 日)
陸上競技場	福島県県南 4 種 2 部リーグサッカー大会
	第 17 回福島県協会長杯ゲートボール大会
	第 19 回県協会長杯大会福島県ゲートボール大会
	第 30 回福島県リレーカーニバル (1 日)
	第 38 回田村富士ロードレース大会 (1 日)
第 6 回たむらクロスカントリー大会 (中止)	
多目的運動広場	第 30 回福島県リレーカーニバル (1 日)

クロスカントリーコース利用実績 (R1)

施設	団体
大会等	第 6 回たむらクロスカントリー大会(中止)
トレーニング	船引中、ふくしま駅伝田村市チーム、田村市陸協、田村高校 鬼の里スポーツクラブ、あさかの RC

田村富士ロードレース大会申込者（地域別）

年度	市内	市外	県外	合計	完走者
R2	199			199	173
R1	864	361	32	1,257	1,088
H30	936	305	31	1,272	1,172
H29	944	298	30	1,272	1,124
H28	919	230	45	1,194	1,075
H27	966	287	49	1,302	1,144
H26	931	334	67	1,332	1,135
H25	1,012	337	105	1,454	1,273

田村富士ロードレース大会申込者（部門別）

年度	小学生	中学生	高校	一般	親子	ウォーク
R2	139	60				
R1	259	327	33	211	366	61
H30	266	285	13	202	424	82
H29	278	353	55	179	338	69
H28	254	308	48	241	268	75
H27	298	323	62	270	268	81
H26	257	359	70	299	252	95
H25	349	376	48	297	314	70

市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会成績

年度	記録	市の部	総合の部
R2	2時間49分54秒	10位	22位
R1	5時間22分41秒	9位	12位
H30	5時間17分46秒	7位	10位
H29	5時間13分15秒	5位	7位
H28	5時間11分48秒	5位	5位
H27	5時間13分07秒	6位	6位
H26	5時間11分38秒	5位	5位
H25	5時間13分51秒	7位	7位

青少年スポーツ大会実績

大会名	参加チーム数	参加者数
あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会	中	止
都路町グリーンパーク杯ソフトボール大会	9チーム	160名
都路町グリーンパーク杯バレーボール大会	6チーム	160名
ビートル駅伝大会	中	止

講習会等実績（R2）

講習会等名	会場	参加者数
バレーボール教室(小学生)	郡山総合体育館	24名

## 6 教育行政の円滑な推進と効率的運営

### ① 教育委員会の活性化を図ります

#### (1) 開かれた教育委員会

- ◇ 教育委員会の透明性を高める取組
  - ・所管事務の調査や施設等の視察
  - ・会議運営の工夫と公表

#### (2) 教育委員会施策の評価と公表

- ◇ 教育振興推進プログラムの自己評価
  - ・教育振興推進プログラムの自己評価
  - ・外部評価委員会の定期開催
  - ・議会報告と市民への公表

### ② 教育予算を効果的・効率的に執行します

#### (1) 教育予算の効果的運用

- ◇ 市財政計画をふまえた効果的な予算執行
  - ・教育大綱に基づく重点事業の設定
  - ・予算編成ヒアリングの実施

### ④ 教育環境の整備・充実を進めます

#### (1) 田村市総合計画に基づく快適で安全な教育環境の整備

- ◇ 教育活動の場にふさわしい環境の整備
  - ・各学校の経年劣化の状況をふまえた計画的な修繕

#### (2) 学校の安全管理と事故防止

- ◇ 児童生徒の安全な学校生活のための環境整備
  - ・安全点検後の迅速な修繕
  - ・防火管理体制の充実
  - ・通学路の点検と危険箇所の解消

#### (3) 児童生徒の通学支援

- ◇ 児童生徒への費用的支援
  - ・遠距離通学児童生徒への通学支援
  - ・自転車通学への通学支援

### ③ 人材育成を推進します

#### (1) 高校生・大学生の就学支援

- ◇ 奨学金制度の効果的な運営
  - ・奨学金制度の周知

#### (2) 高校生の海外留学支援

- ◇ 海外留学支援制度の周知
  - ・アメリカ合衆国留学支援制度の周知

### ⑤ 教育効果を高めるための学校規模の適正化を進めます

#### (1) 複式学級解消に向けた学校規模の適正化推進

- ◇ 学校規模の適正化推進
  - ・小学校適正規模・適正配置検討委員会の設置

### 3 教育振興推進プログラムダイジェストⅢ（教育総務課所管事業）

#### 6 教育行政の円滑な推進と効率的運営

#### 施策目標6-1：「教育委員会の活性化を図ります。」

##### 指標6-1(1)-1：教育委員会の透明性を高める取組

###### ○ 所管事務の調査や施設等の視察

・ 滝根・大越体育館都路体育館耐震改修・大規模修繕工事の竣工状況視察、パークゴルフ場工事の進捗状況現地視察、田村市総合体育館冷暖房設備工事の竣工状況視察の実施。

###### ○ 会議運営の工夫と公表 意見交換会の開催計画

会議資料の事前配布や会議における説明の効率化

会議内容をホームページで公表

・ 教育委員会開催は、定例会12回、臨時会2回、施設訪問1回実施、市長との教育懇談会1回。

・ 次年度事業等の勉強会

・ 委員会討議・課題テーマ一覧

① 教育委員会の事務に関する点検評価

② 新型コロナウイルス感染症による小中学校臨時休校や夏期休業の特例措置

③ 小学校適正規模・適正配置検討委員会の開催

④ 要保護及び準要保護児童生徒の認定

⑤ 学校給食センターの運営方針と食育計画

⑥ 給食費及び奨学資金の未納者に対する対応

⑦ めだかの学校の運営方法等

⑧ 学校支援地域本部、各地域教育協議会の状況

⑨ 田村市GIGAスクール構想に向けた計画

⑩ 教科用図書採択地区変更及び教科用図書の採択

教育委員会の所管事務の調査、施設や教育活動等の視察状況

月 日	事業名	場 所
4月 6日	市立小・中学校入学式、始業式	各小・中学校
4月 9日	市立幼稚園・こども園入園式	各幼稚園・こども園
5月13日	第1回田村市教育総合会議	田村市役所
	第1回外部評価委員会（書面意見報告）	田村市役所
9月24日	第1回教育委員会所管施設訪問	滝根・大越体育館 パークゴルフ場 田村市総合体育館
11月17日	市長との懇談会	田村市役所
1月21日	教育委員会勉強会	田村市役所
3月13日	田村市立中学校卒業式	各中学校
3月15日	第2回外部評価委員会	田村市役所
3月18日	田村市立幼稚園・こども園卒園式	各幼稚園 各こども園
3月23日	田村市立小学校卒業式	各小学校
3月29日	田村市教育委員会表彰式	田村市役所

※ 令和2年度は、予定していた「各事業、研修会等」が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止、延期等になったため視察ができなかった。

指標6-1(2)-1：教育振興推進プログラムの自己評価

- 教育大綱ダイジェスト版の策定
- 課内での施策に対する自己評価の実施
- 外部評価委員会の前期・後期開催
- 外部評価委員会委員の評価、評価結果の議会報告、ホームページ掲載

施策目標6-2：「教育予算を効果的・効率的に執行します。」

指標6-2(1)-1：田村市財政計画をふまえた効率的な予算執行

- 教育大綱に基づく重点事業の設定
  - 予算編成ヒアリングの実施
- 次年度に向けた効果的な教育予算を要求



## 施策目標6-3：「人材育成を推進します。」

### 指標6-3(1)-1：奨学金制度の効果的な運営

- 奨学制度の周知は、田村市内の中学校や田村市の高校生が在籍する高校への制度案内依頼
- 広報紙、ホームページ掲載  
本年度給与者、5名（内訳、専門学生 2名、大学生 2名）  
本年度給与年額は 144万円  
本年度貸付者、7名（内訳、高校生 1名、専門学生 2名、大学生 2名）  
本年度貸与年額は 354万円
- 来年度貸付者 短期大学生 1名、大学生 1名

### 指標6-3(2)-1：海外留学支援制度の周知

- 海外留学支援制度は、猪狩俊郎人材育成基金による高校生の海外留学支援で、1年間のアメリカ留学に対する渡航費、学費、滞在費への助成であり、現在まで3名に支援した。
- 田村市の高校生が在籍する高校への周知依頼（未実施）
- 中学生海外派遣研修参加者へのチラシ配布による周知（未実施）
- 広報紙、ホームページへの掲載（未実施）  
《新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から周知できなかった。》

## 施策目標6-4：「教育環境の整備・充実を進めます。」

### 指標6-4(1)-1：教育活動の場にふさわしい環境の整備

- 各学校の要望や現状を踏まえ計画的修繕の実施

### 指標6-4(2)-1：児童生徒の安全な学校生活のための環境整備

- スクールバス試乗による安全確認の実施
- 通学路安全点検における危険個所の解消

指標 6-4(3)-1 : 児童生徒への費用的支援

- 遠距離通学児童生徒への通学支援として、補助金交付の継続
- 自転車通学への通学支援として、ヘルメット購入補助の継続

施策目標 6-5 : 「教育効果を高めるための学校規模の適正化を進めます。」

指標 6-5(1)-1 : 学校規模の適正化推進

- 各地域の今後の児童生徒数の推計

児童数推計

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
滝根小	168	154	149	142	145	138
大越小	176	163	167	148	144	127
都路小	41	43	38	36	29	31
常葉小	226	215	220	208	203	189
芦沢小	36	43	43	41	38	38
船引南	93	88	85	85	78	84
船引小	683	675	637	623	602	584
美山小	50	48	50	51	53	54
緑小	46	47	52	53	53	51
瀬川小	31	34	35	36	37	32
要田小	43	49	44	45	54	53
計	1,593	1,559	1,520	1,468	1,436	1,381

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
滝根中	97	100	97	90	79	75
大越中	100	92	87	93	81	88
都路中	33	27	33	25	31	21
常葉中	124	124	120	111	112	113
船引南中	71	76	75	73	68	63
船引中	398	392	413	439	453	424
計	823	811	825	831	824	784

～ Ⅲ 外部評価委員より ～

S+: 目標を大幅に上回る成果をあげた S: 目標を上回る成果をあげた A: おおむね目標を達成した B: 業務に支障はないが、目標は下回った C: 目標を大幅に下回った

施策	内部評価	外部評価
<p><b>確かな学力を育成します</b></p> <p>(1) 学力向上の支援</p> <p>◇主体的、対話的で深い学びの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「授業スタンダード」の活用</li> <li>「活用力育成シート」の活用</li> <li>教員の授業改善促進</li> </ul> <p>◇学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「田村っ子」家庭学習の手引の活用</li> <li>「家庭学習スタンダード」等の活用</li> </ul> <p>◇連携型保幼-小-中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼小連携小中一貫教育推進事業</li> <li>5-4制小中一貫カリキュラムの共有</li> <li>はぐくみステップ・スタートカリキュラムの充実</li> </ul> <p>◇複式学級指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複式学級指導支援員の配置</li> </ul> <p>(2) 英語が使える人材育成</p> <p>□国際社会に対応した外国語教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALTによる外国語授業の充実</li> <li>中学生夏季英語研修</li> <li>海外短期英語留学研修(☆)</li> <li>中学生海外派遣研修</li> <li>English School Bus事業(☆)</li> </ul> <p>(3) ICT教室の充実</p> <p>◇プログラミング教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング的思考の育成</li> </ul> <p>◇ICT教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末の配備と活用(☆)</li> </ul>	<p>○「授業スタンダード」に基づく授業づくりの継続して推奨してきたことにより、授業改善につながっている。</p> <p>○学校訪問および学校支援指導主事訪問における授業研究の機会を通して、教員一人一人の指導力向上に努めた。(計画訪問8校2園)</p> <p>○自己マネジメント力向上を意識した教育活動を推奨することで、学習規律、学習習慣の確立に努めた。</p> <p>○各中学校区ごとに、授業研究、生徒指導、学校保健に関する協議会等を開催している。また、地区ごとの創意工夫を生かした事業を推進し、交流や連携の充実を図っている。</p> <p>○学力向上推進委員会で小中一貫教育カリキュラム系統表を作成し、各校に配布した。</p> <p>○「はぐくみステップ」の活用を図るだけでなく、研修会を実施して保幼小間の情報交換を図るなどして幼小連携の充実を努めた。</p> <p>○市内全ての小中学校にALTを派遣し、質の高い英語教育を推進した。</p> <p>○小学校外国語の授業力向上を目指し、新たに研修会を行い、指導主事経験者である中学校教頭による示範授業及び学級担任による授業を参観し、基本的な授業の進め方等について研修を深めた。</p> <p>○スクールバスの中や校内で、英語の歌のCDを聞かせることにより、英語に慣れ親しむことができるようにしてきた。今年度は新しいCDを購入した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により中学生夏季英語研修および中学生海外派遣研修が中止とせざるをえなかった。</p> <p>○プログラミング教育に伴う研修を、大趣小中をモデル校として推進してきた。</p> <p>○慶応大学教授によるドローンを利用したプログラミング教育の出前授業を、小学校1校、中学校1校で実施した。</p> <p>○児童生徒一人1台のタブレットを令和3年2月末まで完了。あわせて、タブレットを活用した授業が促進できるよう電子黒板等も導入した。</p>	<p>○「授業スタンダード」「活用力育成シート」による授業改善への努力、指導主事による指導力の向上に期待いたします。</p> <p>○「授業スタンダード」は、若手教員にとっても経験豊富な教員にとっても、効果的な指導方法を身につけたり、改善工夫を蓄積したりしていく上で、拠り所として重要で、指導主事等による支援や市・県の効果的な資料活用などを含めて、より質の高い授業が提供されることを期待します。</p> <p>○学習習慣の確立と学力向上の関連は密接ですので、情報モラル教育などSNS活用ルールを含め、保護者との一層の連携強化による取組を期待します。</p> <p>○幼小小または小中連携は教員の意識改革なしには成果は上がりません。(私の経験上) 教員の積極的具体的指導・支援をお願いします。)</p> <p>○小中連携による協議会等の継続とともに、小中一貫教育カリキュラム系統表を有効なものとし、授業の質的改善に向けた、さらなる取組を期待します。</p> <p>○常葉中学校を訪問した時、6年生の皆さんが中学校に移動するところを見ました。自然な感じだったので理屈ではなく、これが小中一貫なのだと感じました。</p> <p>○複式学級指導支援員配置の継続をお願いします。</p> <p>○示範授業や基本的な授業の進め方は大変有効だと考えます。</p> <p>○質の高い英語教育実施のため、小中学校へのALT派遣の継続をお願いします。</p> <p>○小学校外国語科の指導にあたっては、教員の経験や能力の差が大きく、示範授業や基本的な指導方法の研修は効果的であると考えます。</p> <p>○英語の歌(CD)の活用は、英語に慣れ親しむという点で一定の効果も期待できると思います。継続的に活用する中で検証し、必要な工夫改善を行い、その効果を高めていくことを期待します。</p> <p>○English School Bus事業はずっと継続してもらいたい事業です。身についた習慣は恐ろしい程力があると思います。何十年たっても忘れませんから。</p> <p>○次世代の必須アイテムであると考えられます。強く推進していただくようお願いします。</p> <p>○プログラミング教育については、モデル校や出前授業の成果や課題を生かしながら、小中を見通した指導の計画作成と実践を期待します。</p> <p>○各教科等の指導目標を見失わないようしながら、授業の質を高める効果的・積極的なICT活用を期待します。</p> <p>○小学2年生の町探検の授業でうちの店に来店した時にタブレットを上手に使う姿を見せていただきました。2年生は興味津々で「はてな？」を感じたらタブレットで調べたり写真を撮ったりと扱いも慣れたものでした。</p>
<p><b>規範意識を養い、豊かな心と健やかな体を育成します。</b></p> <p>(1) 道徳教育の充実</p> <p>◇「特別の教科 道徳」授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育推進委員会の活性化</li> <li>地域素材や人材の活用</li> </ul> <p>◇心や行動の指針の共有・実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「心の道標(みちしるべ)」の啓発</li> <li>「実践躬行5則」「ルール10」の実践</li> </ul> <p>(2) 読書活動の推進</p> <p>◇読書意欲の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回学校司書の活用(☆)</li> <li>市ビブリオバトル大会の開催(☆)</li> </ul> <p>(3) 体力・運動能力の向上</p> <p>◇体力向上策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「運動身体づくりプログラム」の実践</li> <li>田村地区小学校陸上競技大会の支援</li> </ul> <p>(4) 健康教育の推進</p> <p>◇放射線・防災教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師の活用</li> </ul> <p>◇食育授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>肥満や齲蝕(うしょく)の解消・予防</li> <li>栄養職員等の授業支援</li> </ul> <p>◇健康教育教室の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用防止教室等の開催</li> <li>歯科・思春期保健教室の開催</li> </ul>	<p>○道徳教育推進委員会において、中学校区単位で協議を行った。地域や児童生徒の実態に応じた指導の在り方や各校における「特別の教科 道徳」の実践を持ち寄り、よりよい授業の在り方について検討した。</p> <p>○各種学校訪問の際に、「心の道標」や「実践躬行」を児童生徒の実践に結びつけるよう啓発を行った。</p> <p>○学校司書の巡回回数増により、図書館蔵書の整理・環境整備がより進み、利用者数、読書量が増加している。また、担当教師との連携により校内ビブリオバトルの充実が図られた。</p> <p>○中学生ビブリオバトルを開催し、各中学校から選ばれた生徒の発表を聞くことにより、参加生徒の読書への興味関心を高めることができた。</p> <p>○小学校陸上大会は、多くの児童が自己記録を更新し、自己の設定した目標を達成することができた。新型コロナウイルス感染症の影響で運動する機会が減った中、今後とも「運動身体づくりプログラム」を取り入れた体育の授業充実とともに日常の運動量の確保に努めていく必要がある。</p> <p>○コロナ禍の中、各校において環境創造センターや放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターを活用するなど、放射線教育の充実を図っている。</p> <p>○昨年度より実施している中学校でのフッ化物流口事業も定着した。幼稚園・こども園から中学校まで継続して、う歯の保有率や処置率の改善に取り組んでいる。</p> <p>○肥満傾向出現率が全国平均より高いため、各学校で「運動身体づくりプログラム」を取り入れた体育の授業の充実と運動機会の確保に努めている。また、学校保健委員会等の組織を活用し、保護者に対して食育面での啓発活動を行った。</p> <p>○歯科・思春期保健教室等に、外部講師を活用することで、健康教育に関する指導の充実を図ることができた。(17校で実施)</p>	<p>○「心の道標」「実践躬行」「ルール10」、それぞれの設定の趣旨や活用方法等について、教職員がよく理解し、必要感をもって推進できることを期待します。</p> <p>○市のビブリオバトルを見学しました。生徒の関心が高まる活動と思われます。継続を。</p> <p>○中学生ビブリオバトルは、開催に至る過程を含めて、市内中学生の多くが読書に触れる機会を得ることができ、読書に親しみきっかけづくりという目的達成につながったと思います。今後とも読書習慣の形成や豊かな人間性の育成などに向けた継続的な取り組みをお願いします。</p> <p>○第1回ビブリオバトルを拝見させて頂きましたが、大成功でした。読む力と伝える力が身に付き将来のどうしても欲しい自信につながるかと感じました。</p> <p>○「運動身体づくりプログラム」の継続をお願いします。</p> <p>○コロナ禍やSNSに關わる課題等が山積する中において、運動の日常化を図ることは、心身の健康上の諸問題を解決するとともに、学力向上を図っていくうえで、大変重要であると考えます。必要な対策を講じながら、施策の一層の推進を期待します。</p> <p>○コロナ禍での体力向上は難しいものがあつたのではないかと感じました。</p> <p>○東日本大震災から10年を迎える節目に改めて放射線・防災という事を考え直す機会はとても貴重だと思います。</p> <p>○健康のためには、児童生徒の理解が大切と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ栄養、食事は大切?</li> <li>なぜ運動は大切?</li> <li>歯磨きはどのようにするの?</li> </ul> <p>等々理解させる方策が望まれます。</p>

1 学校教育の充実

施策		内部評価	外部評価	
1 学校 教育 の 充 実	<p>個に応じた教育を推進します</p> <p>(1) 特別支援教育の充実</p> <p>◇ 個に応じた学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育支援員の適切な配置</li> <li>特別支援教育支援員の研修</li> </ul> <p>◇ 「サポネット田村」運営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サポネットファイルの活用</li> <li>ケース会議の支援</li> <li>特別支援教育啓発セミナーの開催</li> </ul> <p>◇ 就学前幼児への早期相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども未来課との連携</li> <li>「すくすく教室」との連携</li> </ul> <p>(2) 実効ある生徒指導の推進</p> <p>◇ 学校生活への適応指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級生活満足度(Q-U)調査</li> <li>小・小連携・小・中連携交流事業</li> <li>異校種間の引継ぎ支援</li> </ul> <p>◇ いじめ、不登校への迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市「いじめ防止等に関する条例」</li> <li>心の教室相談員の配置</li> <li>SC、SSW派遣事業の活用</li> <li>生徒指導 学校訪問</li> <li>適応指導教室の開設</li> </ul>	<p>○特別支援教育支援員の研修会を開催し、特別な支援を要する児童生徒のかかわりについて研修を深めることができた。</p> <p>○3回の開催の中(1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のために紙面開催)で、2件の事実についてケース会議を開催し、各園・学校における支援の在り方について適切な助言を行うことができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため特別支援教育啓発セミナーは中止せざるを得なかった。</p> <p>○保健課「すくすく教室」に指導主事を派遣し、参加した保護者に対しての相談や就学に関する情報提供を行った。また、希望者と市内小学校の特別支援学級見学を行い、保護者に対して早期からの個に応じた支援の必要性を啓発する取り組みを行った。</p> <p>○学級生活満足度調査(Q-U検査)を年に2回実施することで、児童生徒の心の状態および変容を把握し、個に応じた支援を行うことができた。また、各学級担任の学級経営の充実に資するとともに、いじめや不登校の未然防止に役立てることができた。</p> <p>○心の教室相談員の研修会を実施し、相談員のカウンセリング技能の向上を図るとともに、SSWからの助言や相談員同士の情報交換を行うことで相談活動の充実を図ることができた。</p> <p>○SC、SSWの活用が進み、児童生徒、保護者等の様々な事案に対して相談活動及び支援を充実させることができた。</p> <p>○生徒指導に関する問題等については、指導主事が訪問したりケース会議を実施したりして解決に向けて取り組んできた。</p> <p>○適応指導教室を開設したところ、現在、7名の児童生徒が在籍し、学校生活に適応できるよう各人のペースにより通級している。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業等の影響により、学校生活になかなか適応できない児童生徒も見られ、不登校児童生徒数が昨年度同時期において増加した。各学校における生徒指導機能の充実をお願いしている。</p>	<p>A</p> <p>○特別支援教育支援員の配置は保護者学校そして何より障がいを持つ児童生徒にとって極めて大切なことです。</p> <p>○支援を要する子供たちと保護者の方と支援員の方々の信頼関係を築くために研修や会議はとて必要なのに新型コロナウイルス感染拡大防止のため思うように進まなかった中、適切な助言を行えたのは本当に良かったです。</p> <p>○障がいに応じた指導援助は、個々の実態に応じてさまざまですので、ケース会議による支援方法等の研修は、指導力を高め、一人一人の困り感に寄り添う支援につながっていくものと期待します。</p> <p>○研修、情報提供、相談等々今後とも子供たちのためになる施策の充実を願います。</p> <p>○就学指導において、保健・福祉との連携が重視される中で「すくすく教室」への指導主事派遣等による丁寧な支援はすばらしく、ぜひ継続していただきたい。</p> <p>A</p> <p>○いじめ、不登校、生徒指導上の諸問題への対応は本当に困難を極めています。しかし、大きな問題に発展する恐れもあり教育関係者一丸となって未然防止に当たっていただきたい。</p> <p>○コロナ禍に伴う不登校児童生徒の増加をはじめ、生徒指導上の問題も多様化・複雑化していると思いますので、今後ともSC、SSWや適応指導教室などによる効果的な支援をお願いします。</p> <p>○今年はSNS等による誹謗中傷というワードが何度も急上昇したことがおかつたように思えます。ただ、縦の繋がりが横の繋がりが横の連携が日頃から気持ちの中に備わっているのでもいじめ防止・縮小に繋がっているのではないかと感じました。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
	<p>地域に開かれた学校教育を実現します。</p> <p>(1) 開かれた学校づくり</p> <p>◇ 教育活動の積極的な公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りやホームページの活用</li> <li>「学校へ行こう週間」</li> </ul> <p>◇ 学校評価による学校運営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校自己評価の公開</li> <li>学校関係者評価の推進</li> </ul> <p>(2) コミュニティ・スクール制度の導入</p> <p>◇ 学校運営協議会(学園型)の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会委員の研修</li> <li>CS準備委員会の研修(☆)</li> </ul> <p>(3) 特色ある教育による学校の魅力向上</p> <p>◇ 総合的な学習の時間による地域学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域素材による地域理解</li> <li>地域人材によるキャリア教育</li> </ul> <p>(4) 地域や保護者との連携や協力</p> <p>◇ 地域ボランティアの積極的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校支援活動事業との連携</li> <li>学習支援ボランティアの活用</li> </ul> <p>◇ 危機管理情報伝達体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時「eメッセージ」メール配信システム</li> </ul> <p>◇ 児童生徒のまちづくりへの参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田村市こども議会</li> <li>中学生F2サミット(☆)</li> </ul>	<p>○常葉小中学校区以外の小中学校において、学校運営協議会準備会を立ち上げるとともに、常葉小中学校運営協議会を参観し、令和3年度から全中学校区において実施できるようにしている。</p> <p>○コロナ禍で授業参観を実施できない時期もあり、各校の教育活動を地域や保護者に発信するために、積極的に学校便りやホームページの活用が図られた。</p> <p>○小学校にあっては、地域に関する題材を総合的な学習の時間に位置づけ、地域に関する理解を深めてきた。</p> <p>○特別非常勤講師(県配置)を積極的に活用し、キャリア教育を含めて地域人材を活用してきた。(12校)</p> <p>○校務分掌に「地域連携担当職員」を位置づけ、学校支援コーディネーターと連携し、地域ボランティアを円滑に活用できる体制ができていく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症による被災把握や保護者への連絡等に大いに役立った。非常時には不可欠なシステムである。</p> <p>○こども議会は新型コロナウイルス感染症対策のため、換気ができる会場に変更して実施した。今年度から、児童生徒の研修の機会を増やした。まちづくりへの興味・関心を高めるとともに、主権者教育の充実に資することができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響によりF2サミットは中止せざるを得なかった。</p>	<p>A</p> <p>○学校運営協議会が、学校のやる気を支え育てる様な会になっていただきたい。</p> <p>○子どもや教職員など学校の姿が「見えない、分からない」ことが、保護者や地域住民の不安や不信を招く要因の一つです。コロナ禍が続いていますが、可能な範囲で、情報発信と積極的な意見聴取等の機会設定の継続をお願いします。</p> <p>○早いスピードで変わりゆく学校環境の中で学校運営協議会準備会を立ち上げたことはとてもタイムリーだと思いました。</p> <p>○コミュニティスクールが開かれた学校運営に寄与し、地域の教育力が十分発揮されるよう期待します。</p> <p>○少子化が加速化する中で、学校運営協議会の設立は、重要な施策であると思います。学校と地域が一体となって子どもを育てていこうという協議会の趣旨を有効なものにするためにも、それぞれの地域のよさや課題などの実態に即した運営を期待します。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中々思うように進まないことは残念です。</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

施 策	内部評価	外部評価
<p>1 学校教育の充実</p> <p>教職員の資質の向上を図ります</p> <p>教職員の資質向上を図ります</p> <p>(1) 教職員の指導力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学校訪問等による授業力向上の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画訪問</li> <li>・ 要請訪問</li> <li>・ 学校支援指導主事による授業支援</li> </ul> </li> <li>◇ 課題研究による指導力の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上推進委員会の活性化</li> <li>・ 先進県研修派遣と専門研修派遣（☆）</li> <li>・ 学校教育指導委員による個人課題研究</li> <li>・ 小中連携による中学校区授業研究会</li> </ul> </li> <li>◇ 専門研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員セミナー（☆）</li> <li>・ 幼稚園教諭等研修会</li> <li>・ プログラミング教育研修会</li> <li>・ 養護教諭研修会</li> <li>・ 英語担当者</li> <li>・ 英語担当者・ALT合同研修会</li> <li>・ 常勤講師研修会</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 教職員服務倫理の確立と働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 不祥事根絶 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内相談体制の構築</li> <li>・ 服務倫理委員会の充実</li> </ul> </li> <li>◇ 勤務の適正化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務実態の把握</li> <li>・ 勤務適正化への支援</li> </ul> </li> </ul>	<p>○学校支援指導主事2名を各学校に派遣し、教職員一人一人の授業力向上のための支援を継続的に行うことができた。</p> <p>○指導訪問・要請訪問については、可能な限り複数の指導主事を派遣し、教職員の指導力の向上に向けた指導助言にあたった。要請訪問では、事前に指導案検討を行うことによって、指導助言の効果が上がった。</p> <p>○先進県派遣及び専門研修派遣については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった。</p> <p>○中学校教員による小学生対象の授業も推進されてきている。</p> <p>○各種研修会では、県中教育事務所指導主事、さらに、専門的知見をもつ講師を招聘し、質の高い研修開催に努めた。特に「特別の教科道徳」や英語及び外国語活動は、新学習指導要領の移行期に向け、研修によって教員の専門性を高めることができた。教育セミナー、プログラミング教育研修会、養護教諭研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった。</p> <p>○田村市服務倫理対策委員会を3回実施し、校長を通して不祥事防止に関する具体的な手立てを話し合い、教職員への指導に役立てた。そのうち1回は参事範囲を拡大し、全校長及び園長を対象として、弁護士を講師に招聘し、法規に基づいた対応事例を研修した。</p> <p>○年1回以上外部人材（駐在、保護者等）を活用した校内服務倫理委員会を各学校で開催し、成果を上げている。</p> <p>○部活動指導の指針、アクションプランにより、昨年度より正規の勤務時間を除いた在校時間は減少傾向にある。今後、文部科学省の示したガイドライン（月45時間以内、年間360時間以内の超過勤務）を達成できるようにさらに業務改善を図っていく必要がある。</p> <p>○部活動指導員は昨年度よりも1名増員し活用が図られた。（中学校2校・5名）</p>	<p>S</p> <p>○学校支援指導主事の活用は有効であると考えます。</p> <p>○授業改善への指導、助言を継続願います。</p> <p>○「児童生徒の学力向上は、教員の指導力による」と言っても過言ではないと思います。今後とも学校支援指導主事を積極的に活用し、授業研究を中心とした研修を重ねながら、教員一人一人の実践的指導力を高めていただきたい。</p> <p>○コロナ禍の中、研修や指導助言にあたられ、教職員の方、職員の方々、感謝いたします。すべては子供たちのために今後ともよろしく願います。</p> <p>○研修は、先生方にとって指導力の向上、知見を広める意識改革など大きい効果が期待できると考えます。</p> <p>A</p> <p>○県民、市民の信頼を得るためには、不祥事根絶は何より大切。</p> <p>○経験値だけでは対応が困難な事案の発生も想定されますので、弁護士等の招聘による法規に基づいた事例研修は重要であると思います。</p> <p>○教職員の心身のケアや必要な人的配置などを含めて、勤務の適正化を図っていくことが不祥事防止や教育効果を高めることにつながっていくと思います。</p> <p>繰り返しの指導、校内での話し合いなど継続以外近道はないと思います。</p> <p>○教職員の不祥事が最近のニュースで多々聞かれる中、田村市においては、不祥事が無かったことは素晴らしいです。</p> <p>A</p>

S+: 目標を大幅に上回る成果をあげた S: 目標を上回る成果をあげた A: おおむね目標を達成した B: 業務に支障はないが、目標は下回った C: 目標を大幅に下回った

施策	内部評価	外部評価
<p><b>1 公民館の活性化を図ります。</b></p> <p>(1) 学級講座の充実 ◇ 市民のニーズを捉えた学級講座の企画 ・ 学級講座の評価と再検討 ・ 学習ニーズアンケート調査の実施と結果の分析 ・ 共同開催する学級講座の企画</p> <p>(2) 公民館運営の活性化 ◇ 市民に愛される公民館づくり ・ 管理運営体制の検証 ・ 市民に愛される公民館の管理運営の検討</p> <p>(3) 生涯学習等複合施設の整備 ◇ 文化・学習活動や交流施設の整備に向けた構想の策定 ・ ワークショップ等の開催</p>	<p>○事業開催の主体となる団体(老人会や女性団体など)が組織されている地区については比較的活発に教室が開催されているが、一般市民公募型の教室については、参加者の確保に各館で苦慮している。魅力的な教室開催の必要性もさることながら、普段公民館へ来ない層の来館のきっかけづくりを工夫する必要がある。</p> <p>○コロナの影響により多くの事業が中止となったが、中でも実施した高齢者移動学級や女性学級などの事業実施後に次回開催に向けたニーズ調査等のアンケートを実施したが、一般の市民を対象とするアンケート調査は実施できなかった。</p> <p>○合同開催することで事業効果が得られるものについては、積極的に統合を進め、例年複数の事業で合同開催し、R2年度についても複数の事業を計画したが、コロナの影響により各館連携の事業は3館合同で実施した1事業のみ。</p> <p>○R2年度に大越公民館が行政局と同じフロアへ移動し市民の利便性の向上を図った。今後予定される生涯学習等複合施設の建設に併せ公民館の管理運営体制の見直しが必要となっている。</p> <p>○施設整備に向けた施設の規模や機能について、検討が必要。</p>	<p>A ○今年は、特にコロナの影響で参加が難しくなったと考えられます。 ○コロナ禍への対応や参加者確保に苦慮する中での事業開催であり、ご苦労が多かったと思います。今後も新しい生活様式等をふまえた開催が必要であると思いますが、既存団体のネットワーク強化やコラボした開催内容などを工夫しながら、成就感を味わえる教室の開催をお願いします。 ○今の時代は、団体に所属するとか、組織で活動するとかが煩わしいと感じる人が多いのかもしれないね。何かのきっかけで来館の機会を増やせばいいですね。 ○新型コロナウイルスのせいで、色々なことが我慢せざるを得ない年度でした。でも全般ではなくともアンケート調査ができたのは良かったのではないのでしょうか。</p> <p>B ○中央公民館は、多くの団体の活用がありますので、今後とも各団体が使い易い市民のための施設としてご努力願います。 ○事業効果が得られる合同開催については、今後も積極的な実施を期待しています。</p> <p>B ○より良い施設となるよう検討、改善願います。 ○公共施設等の空きスペースが増える中で、市民のニーズや事業目的等により、大いに活動環境の改善整備を行っていくことを期待しています。 ○公民館の管理運営体制の見直しについては、公民館の目的や機能が損なわれないようにお願いします。 ○大越公民館の移動は益々手狭になった印象を受けました。</p>
<p><b>2 放課後子ども教室事業を推進します。</b></p> <p>(1) 放課後子ども教室(めだかの学校)の推進 ◇ 放課後子ども教室の円滑な運営 ・ 実施校の継続 ◇ コーディネーター及び指導員の育成と確保 ・ コーディネーターの育成 ・ 指導員の育成 ・ 指導員の確保 ◇ 放課後子ども教室の周知及び広報 ・ 「教室だより」や「めだかの学校通信」の発行</p>	<p>○コロナ禍のため休業等があったが、実施している8校で概ね円滑に運営できた。</p> <p>○県実践研修会・県社会教育研修会に積極的に参加できた。市が企画開催したコーディネーター・指導者研修会には約30名が参加し、活発な意見交換が図られた。 ○随時指導員の募集を市のホームページや広報などで実施している。</p> <p>○めだかの学校通信は3月に発行予定。各放課後子ども教室だよりの発行は8校で実施。</p>	<p>A ○放課後子ども教室は、地域や保護者にとって、いまや不可欠なほど大切なものになっています。内容の充実、指導員の確保など益々力を入れて取り組むようお願いいたします。 ○今後も子どもの活動に直接関わるコーディネーター・指導者などの研修や情報交換の機会を継続的に設けていくことを期待します。 ○めだかの学校が運営できたことは良かったです。</p>
<p><b>3 学校支援活動(地域学校協働活動)事業の推進を図ります</b></p> <p>(1) 学校支援活動事業の円滑な実施 ◇ 学校支援活動事業の推進 ・ 学校支援地域本部会議及び地域教育協議会の開催 ◇ 地域の人材活用体制の整備 ・ コーディネーターの育成 ・ ボランティアの有効活用 ・ ボランティアの確保と資質向上 ◇ 学校支援活動事業の周知及び広報 ・ 学校支援地域本部だよりの発行</p>	<p>○情報交換会を3回実施。県実践研修会・県社会教育研修会に積極的に参加できた。</p> <p>○地域をまたいだボランティアの活用を進めている。コーディネーター間の情報交換会へ積極的に参加し、全体での共有化を図ることにより広域的な活用を実施した。 ○本部だよりや市ホームページによりボランティアを募集した。 また、R2年度はオンラインによるコーディネーター研修会(学校協働活動推進フォーラム)に参加し、情報交換により個々の資質向上が図られた。</p> <p>○3月に学校支援地域本部だよりの発行予定。</p>	<p>A ○学校が地域の中で大切な存在です。 ○地域の方々が学校を介して地域の活性化に活躍されたらうれしいです。 ○地域をまたいだボランティアの活用推進については、人員補充のみならず、教育活動の充実を図る点からも良いと思います。 ○市のホームページ等を利用してボランティアを募集したのは、大いに期待できるかなと思います。</p>

施 策	内部評価	外部評価
<p><b>4 図書館の機能を充実します。</b></p> <p>(1) 図書館の機能充実</p> <p>◇ 利用促進に向けた図書館資料及び機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズに合わせた蔵書の確保</li> <li>・ 蔵書検索や貸出予約の利便化</li> <li>・ テーマ・年代別図書コーナーの設置</li> <li>・ 自主事業の充実</li> <li>・ 図書館ボランティアの育成推進</li> </ul> <p>◇ 子どもの強く生きぬく力を育むための読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田村市子ども読書活動推進計画の実践</li> <li>・ 子どもが利用しやすい館内環境の整備</li> <li>・ 学習支援機能の充実</li> <li>・ 家庭における子どもの読書活動推進のための支援</li> </ul> <p>◇ 図書館事業の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民等への広報</li> </ul>	<p>○図書館資料は、利用者ニーズに合わせるため、蔵書構成のバランスや話題の図書、リクエストなどを十分考慮し購入した。</p> <p>○パソコンやスマートフォンからインターネットを通して蔵書検索や貸出予約を可能にし、利用者の利便性を図ることができた。</p> <p>○図書展示コーナーを玄関付近に移動し、装飾を施すなど見やすく利用しやすくした。</p> <p>○「お話し絵本講演会」はコロナ対策を講じて実施したが、40名を超える参加があり、読み聞かせについての理解を深めることができた。</p> <p>○子ども司書養成講座は、短縮して実施したものの8名の参加があり、図書館の仕事などについての子どもたちの理解を深めることができた。</p> <p>○図書館や学校支援でのおはなし会の円滑な実施のために、学校支援コーディネーターと協力し連絡調整など中心的な役割を担った。</p> <p>○ボランティア向けの自主事業を実施し、ボランティアの育成を図った。</p> <p>○コロナ禍中、制限はあったものの、感染症対策を講じて各種事業を進めることができた。</p> <p>○ヤングアダルトコーナーを2階に移動し、中高生向けのおすすめ本を展示するコーナーを設置した。また、高校生ボランティアの協力を得て、コーナーの充実にも努めた。</p> <p>○学校図書支援員との情報交換会を行い、団体貸出の支援を行うなど連携強化に努めた。</p> <p>○図書館見学や体験学習の受け入れなど積極的に行った。</p> <p>○ブックスタート事業はコロナ対策のため、保護者への説明が十分に行うことができなかったが、絵本の配布は予定通りにできた。</p> <p>○新刊の案内や自主事業等を市政だよりやホームページなどで広報に努めた。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>○予算が限定されていると思いますが、ニーズや時代に合った蔵書の充実を期待します。</p> <p>○小さい時の「読み聞かせ」は後の物語や本への興味づけまたは豊かな心の育成にもつながるのではないかと思うので充実させてほしい。</p> <p>○コロナ禍の中、対策を取りながらの「おはなし絵本講演会」40名を超える参加者があったとのこと、職員の方の努力を感じました。</p> <p>○読書の大切さは誰もが感じているものの、読書離れが進み、特効薬もない中で、コロナ感染症の対策を講じながらの各種事業推進に感謝します。今後も掲げられた施策を継続的に推進いただきながら、特に、スマホ等によるSNS利用が過度になる中で、読書の魅力と重要性を粘り強く啓発していくことを期待します。</p>
<p><b>1 多様な芸術文化活動を支援します。</b></p> <p>(1) 芸術文化活動への支援</p> <p>◇ 様々な芸術文化活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術文化団体活動への支援</li> <li>・ 各地区文化祭や芸能祭への支援</li> </ul> <p>(2) 文化センターを活用した芸術文化の提供</p> <p>◇ 質の高い自主文化事業等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化センター運営委員会の開催</li> <li>・ 小中学校芸術鑑賞教室の開催</li> </ul>	<p>○例年、文化協会の作品展示会と芸能発表会の開催を支援しているが、令和2年度は、コロナの影響により作品展示会及び芸能発表会は中止。</p> <p>○各地区の文化祭実行委員会等へ事業補助金を交付し支援していたが、令和2年度は、コロナの影響により船引の一部事業を除き中止。</p> <p>○年2回(第1回書画、2回開催)を開催した。</p> <p>○小中学校芸術鑑賞教室 小学生(対象:5・6年生)、中学生(対象:2年生)を対象に、小学生は「古典芸能(狂言)鑑賞会」、中学生は「オーケストラ鑑賞会」を予定し、令和元年度からは一般の市民の方へも客席を提供し芸術文化の振興に努めていたが、令和2年度は、コロナの影響により中止。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>○本年度は、コロナの影響で多くの行事が中止になったが致し方ないと思います。コロナの終息後は是非充実のため予算を含めた支援をお願いしたい。</p> <p>○芸術文化活動への取り組みや質の高い芸術文化にふれることは、日常生活の幸福感や地域の教育力を高めることにもつながると思いますので、コロナ禍への対策を講じたうえでの積極的な実施と支援を期待します。</p> <p>○コロナ禍で文化祭の中止でした。残念でした。</p> <p style="text-align: center;">B</p> <p>○本年度は、コロナの影響で多くの行事が中止になったが致し方ないと思います。</p> <p>○芸術文化活動への取り組みや質の高い芸術文化にふれることは、日常生活の幸福感や地域の教育力を高めることにもつながると思いますので、コロナ禍への対策を講じたうえでの積極的な実施と支援を期待します。</p> <p>○コロナの終息後は是非充実のため予算を含めた支援をお願いしたい。</p>

2 生涯学習の充実

3 芸術文化活動の推進



施 策	内部評価	外部評価
<p>3 芸術文化活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民による身近な芸術文化の提供</li> <li>市民等への広報</li> </ul>	<p>○自主文化事業は、「お化け屋敷」、「講演会」、「綾小路きみまろ笑撃ライブ」を予定したが、全ての事業においてコロナの影響により中止となった。</p> <p>○文化センターの催し物や自主文化事業等を市政だよりやホームページ等で広報に努めたが、コロナの影響により事業開催も不透明なこともあり、例年の通りの積極的なPRは行っていない。</p>	<p>○コロナのため中止やむを得ない。</p> <p>○「綾小路きみまろ笑撃ライブ」も中止が決定し、本当に残念でした。笑いでコロナウイルスを吹き飛ばしたかったです。</p>
<p>4 文化財の保護と継承</p> <p>1 地域に遺された文化財の保存と継承を推進します</p> <p>(1) 文化財の保存と継承</p> <p>◇ 文化財の保存と継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護審議会の開催と県文化財保護指導者研修会への参加</li> <li>指定文化財の防災訓練と防火査察の実施</li> <li>指定文化財の周知</li> <li>無形民俗文化の保存と伝統芸能の継承</li> <li>田村市史シリーズの継続発行</li> </ul> <p>(2) 地域の歴史を学び親しめる施設の整備</p> <p>◇ 歴史民俗資料館の活用と文化財保存施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史民俗資料館の活用促進</li> <li>文化財保存施設の整備</li> </ul>	<p>○文化財保護審議会(第1回書面、2回開催)を開催。また県文化財保護指導者研修会に参加。</p> <p>○「文化財防火デー」に伴う国指定文化財 堂山王子神社での防災訓練と市指定文化財15カ所の防火査察を例年どおり実施。</p> <p>○指定文化財標柱は「鹿山神社の大イチョウ」ほか3カ所に設置。</p> <p>○民俗芸能継承団体へ継承活動の支援(補助交付)を行った。 コロナの影響無し(保存事業)</p> <p>○市史9は遺跡をテーマに発行に向けて編集中。(遺跡編)</p> <p>○歴史民俗資料館の自主事業は「お茶会」は、コロナの影響により中止、「正月飾り作りもちつき」34名参加、「団子さし」19名参加しコロナ対策を取り実施。</p> <p>○既存施設を活用し文化財資料保管施設として利用する方向で検討を進めている。</p>	<p>A</p> <p>○文化財は一度劣化したり焼失、紛失したりすると二度と再現できない恐れがあります。予算確保が難しいとは思われますが、保存継承に力を入れていただきたい。</p> <p>○今後とも、保存と継承に向けた対策とともに、地域に内在する文化的価値の発掘や発信の機会づくりをお願いします。</p> <p>○ちょっとした不注意で火災を出し貴重な文化財を失ってしまったら元も子もありません。防災訓練と多くの個所の防火査察を実施されたこと、安心しております。</p> <p>A</p> <p>○昔ながらの「正月飾り作り・もちつき」「団子さし」に参加してくれた子供たちに伝統を守っていく心が芽生えることを信じます。</p> <p>B</p> <p>○他の市と比べて本市の文化財保存施設は充実していない現状です。是非早期の施設を整備してほしいと願っています。</p>
<p>5 スポーツレクリエーション活動の推進</p> <p>1 幅広い年代が親しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進します。</p> <p>(1) スポーツ・レクリエーション大会の推進</p> <p>◇ 運動公園内施設によるスポーツ交流人口の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内外からの高校や大学、社会人チームの合宿誘致</li> <li>県レベル各種大会の誘致</li> <li>施設のPR</li> <li>クロスカントリーコースの利活用</li> </ul> <p>◇ 田村富士ロードレース大会の推進と参加者拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校やスポーツ団体との連携による参加者の拡大</li> </ul>	<p>○合宿の里たむら事業を通して、県外高校等の合宿(スカイパレス)誘致を進めているいるが、R2年度はコロナの影響により活用実績なし。今後も施設のPRや市内の宿泊施設と連携を深め、大学や企業の合宿誘致活動に取り組んでいく必要がある。</p> <p>○総合体育館及び陸上競技場は、市内スポーツ団体の利用が多いため、利用調整に留意しながら、県大会及び県大会支部予選レベル等の各種大会の誘致を積極的に進める。</p> <p>○各施設の写真等や各種事業の周知をその都度ホームページ等に掲載することとしている。</p> <p>○クロスカントリー大会や市外の団体による練習で活用しているほか、普段は市民がウォーキングなどで活用している。</p> <p>○各地で同様の大会やスポーツ少年団の各種大会が開催されていることもあるが、参加者は、例年同程度の参加人数であり、今後参加者を呼び込むため、特色ある大会の検討も必要。</p>	<p>A</p> <p>○総合体育館及び陸上競技場をはじめ市の施設は、市民の方々が多数又は数多くの方が活用してこそ価値があると思います。市民がたくさん使えるよう工夫願います。</p> <p>○R2年度はコロナの影響により、施設活用の実績がなかったり、各種大会や研修会・講習会が中止になったりしたことは、運動不足やストレスなど心身の望ましくない状態を感じている市民も少なくないと思います。コロナ禍の収束が見通せない中ですが、必要な対策を講じながら、運動の推進や人との交流活動を模索していく必要を感じます。</p> <p>また、スポーツ・レクリエーションを通じた交流活動については、小中学生の参加や競技団体主催の大会が主でありますので、特定世代のスポーツやマイナーなスポーツなどについては、世代を超えたスポーツ交流の機会や活動団体設立に向けての支援などを行うことも考えられます。</p> <p>○田村富士ロードレースの参加者が少ないと思いますので何かしらの工夫は必要。</p> <p>○田村市にこんなに立派なクロスカントリーのコースがあることを知らない人がまだまだ居るのかもしれないので、引き続きPRをお願いします。</p> <p>A</p>

施 策	内部評価	外部評価
<p>5 スポーツ・レクリエーション活動の推進</p> <p>◇ ふくしま駅伝への参加と記録への挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通した質の高い練習とスタッフの確保</li> </ul> <p>(2) スポーツ・レクリエーションを通じた交流の推進</p> <p>◇ 小中学生対象のスポーツ大会や講習会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボール大会</li> <li>スポーツ少年団本部長杯大会</li> <li>かぶと虫杯スポーツ大会</li> <li>ビートル駅伝大会</li> <li>グリーンパーク杯争奪少年スポーツ大会</li> <li>スポーツ教室</li> </ul> <p>(3) 活動を支える充実した指導体制の確立</p> <p>◇ 指導者対象の研修会や講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員研修会・講習会</li> <li>スポーツ講演会</li> </ul> <p>(4) ネパールとの交流事業の推進</p> <p>◇ ネパールとの交流事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前合宿の実施</li> <li>スポーツ交流や文化交流の開催</li> </ul>	<p>○田村市陸上競技協会が中心となって、クロスカントリーコースを利用し陸上教室を開催して若手アスリートの育成に努めている。</p> <p>○田村市陸上競技協会へ委託し、選手の練習等について市と連携しながら行っている。</p> <p>○例年、あぶくま洞大多丸旗争奪児童ソフトボール大会、ビートル駅伝大会等は、市内外から多くのチームが参加され、大会を盛り上げていたが、コロナの影響により主要な大会は中止。</p> <p>○小中学生を対象としたスポーツ教室(バスケットボール、バレーボール、サッカー、実業団等の選手による指導)は、R2年度はコロナの感染対策を取りながら、サッカー教室1回、バスケットボール教室1回実施した。</p> <p>○例年、県スポーツ推進委員研修会へ参加し指導者の資質向上を図っていたが、R2年度はコロナの影響により研修会が中止。</p> <p>○コロナの影響により各市町事務局及び委員と協議し田村地方スポーツ推進委員講習会が中止。</p> <p>○コロナの影響により開催中止。</p> <p>○コロナの影響によりネパールとの事前合宿等の交流が実施できなかった。</p> <p>○コロナの影響によりネパールとのスポーツ交流・文化交流が実施できなかった。</p>	<p>B</p> <p>○コロナのため中止はやむを得ないことでした。</p> <p>○今年度は、全国的にスポーツの大会や試合が続々と中止となり、悔しい思いをした子どもたちも多かったことと察します。来年度こそは笑顔に変わりますように。</p> <p>B</p> <p>○子供たちと支えてくださっている指導者の方々の研修等も中止が続き、本当に残念な年でした。</p> <p>○コロナのため中止はやむを得ないことでした。</p> <p>B</p> <p>○コロナのため中止はやむを得ないことでした。</p> <p>○コロナの影響が交流事業も阻止されてしまっ残念です。</p>

S+: 目標を大幅に上回る成果をあげた S: 目標を上回る成果をあげた A: おおむね目標を達成した B: 業務に支障はないが、目標は下回った C: 目標を大幅に下回った

施策	内部評価	外部評価
<p><b>1 教育委員会の活性化を図ります。</b></p> <p>(1) 開かれた教育委員会  <input type="checkbox"/> 教育委員会の透明性を高める取組  <input type="checkbox"/> 所管事務の調査、施設等の視察  <input type="checkbox"/> 会議運営の工夫と公表</p> <p>(2) 教育委員会施策の評価と公表  <input type="checkbox"/> 教育振興推進プログラムの重点化と自己評価  <input type="checkbox"/> 教育振興推進プログラムの自己評価  <input type="checkbox"/> 外部評価委員会の定期開催  <input type="checkbox"/> 議会報告と市民への公表</p>	<p>○施設訪問 ①R2.9.24(火) 滝根・大越体育館耐震改修大規模改修工事の竣工確認、パークゴルフ場の進捗状況の確認、田村市総合体育館冷暖房設備工事の竣工状況の確認の実施</p> <p>○市長との教育懇談会 1回                  ○次年度事業等の勉強会                  ○会議資料の事前配布                  ○会議日程のホームページ掲載</p> <p>○市長との意見交換 1回                  11月17日(火)                  ○次年度の主な事業についての勉強会                  R3. 1. 21(木)</p> <p>○田村市教育大綱の各施策の重点目標をダイジェスト版とし策定</p> <p>○各施策の内部評価として、自己評価の実施</p> <p>○外部評価委員会を年2回開催、外部評価委員が自主的に、各種行事等を見学するなど評価を実施                  ◆新型コロナウイルス感染症の関係で各種行事等が中止となり、例年同様の評価はできていない</p> <p>○令和2年度点検評価報告書の議員への配布及び市ホームページへの掲載</p>	<p>A</p> <p>○市内教育の内容を把握するには、現場に出向き状況を調査することが必須と考えます。                  ○大越体育館は、思わぬ経過が生じ時間もだいぶ費やしたりした様子でしたが、再開できたことは喜ばしいです。                  ○開かれた教育委員会のためにも説明会、懇談会は可能な限り開催願います。                  ○視察等により、直接的に関係者の意見を聞きながら現状を把握することが、透明性のある取り組みにつながると思います。課題等の解決状況の確認も含めて、今後とも継続願います。</p> <p>A</p> <p>○市民の信頼は、透明性があってこそ高まると思っています。                  ○評価そして公表によって市民が理解し納得してくれると考えます。                  ○今後とも、田村市教育大綱に基づく各施策について、点検と検証を行いながら着実な推進をお願いします。                  なお、今年度については、コロナ禍により、外部評価委員会が書面による開催であったり、各種行事等の中止や見学不可であったりと、外部評価委員としての職務があまり果たせなかったことが残念である。                  ○新型コロナウイルス感染拡大防止のために行事・予定等がかなり狂わされた年度でした。職員の方々の努力とご苦勞を評価させていただきたいと思えます。</p>
<p><b>2 教育予算を効果的・効率的に執行します。</b></p> <p>(1) 教育予算の効果的運用  <input type="checkbox"/> 市財政計画をふまえた効率的な予算執行  <input type="checkbox"/> 教育大綱に基づく重点事業の設定  <input type="checkbox"/> 予算編成ヒアリングの実施</p>	<p>○田村市教育大綱の各施策の重点目標をダイジェスト版とし策定</p> <p>○各施策の内部評価として、自己評価の実施</p> <p>○各小・中に対する予算編成に向けたヒアリング及び現地確認の実施</p>	<p>A</p> <p>○ダイジェスト版は、コンパクトでかつ、分かり易くまとめられています。                  ○現地確認は、是非お願いいたします。(私が校長時屋根板等の落下事故を経験しました。事故があってからでは遅い)                  ○各小・中学校に対する予算編成ヒアリングや現地確認の実施については、費用対効果とともに「教育は投資」という視点からも行っていただきたい。                  ○限られた予算の中でやりくりするのにも一苦勞です。ヒアリングの実施は不可欠です。</p>
<p><b>3 人材育成を推進します。</b></p> <p>(1) 高校生・大学生の就学支援  <input type="checkbox"/> 奨学金制度の効果的な運営  <input type="checkbox"/> 奨学金制度の周知</p> <p>(2) 高校生の海外留学支援  <input type="checkbox"/> 海外留学支援制度の周知  <input type="checkbox"/> アメリカ合衆国留学支援制度の周知</p>	<p>○市内各学校、市の高校生が在学する高校への制度周知依頼(24校)</p> <p>○田村市政だより、お知らせ版、ホームページによる制度及び募集のお知らせ</p> <p>○市の高校生が在学する高校への制度周知依頼(24校)</p> <p>○市政だより、ホームページによる制度及び募集のお知らせ</p> <p>◆上記の内容で周知予定であったが、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めないため周知ができなかった</p>	<p>C</p> <p>○周知の継続を願います。                  ○田村市政だよりやホームページによるお知らせだけでなく、市内各学校や市の高校生が在学する高校への制度周知依頼は、効果的であると思えます。                  なお、制度利用者の感想(利用までの経緯を含め)を届けることなども考えられます。                  ○特に大学などは、入学式はおろか講義もオンライン・リモートでしかできない状態が続いているところが多かったので仕方ないと思えます。                  ○市政だより、HPには出されているので市民の方も知っているかもしれませんが、メリットを理解していただく方策の継続。                  ○海外どころか国内までも規制がかかっていた今年度は、デスクの上の学習ではない体験をするのには厳しい年度でした。</p>
<p><b>4 教育環境の整備・充実を進めます。</b></p> <p>(1) 田村市総合計画に基づく快適で安全な教育環境の整備  <input type="checkbox"/> 教育活動の場にふさわしい環境の整備  <input type="checkbox"/> 各学校の経年劣化の状況をふまえた計画的な修繕</p>	<p>○船引小・大越中のトイレ洋式化工事、旧桐山小プール解体撤去工事、常葉中雨漏り補修工事、常葉幼稚園移設(旧西向小学校舎改修)工事、小中学校GIGAスクール構想校内ネットワーク整備事業業務委託(R1繰越事業)をはじめ、緊急性の高い順に計画的に修繕等を実施</p>	<p>A</p> <p>○子供たちのために過ごしやすい環境をありがたうございます。                  学校が避難所として活用されている場合、やはり、和式も残しつつですが、トイレは洋式の方が使いやすいです。                  ○生活様式を含め、児童生徒を取り巻く環境がさまざま変化する中において、よりよい学びにつながる教育環境の整備を今後とも願います。                  ○洋式トイレ工事の推進をお願いします。</p>

6 教育行政の円滑な推進と効率的運営

施 策		内部評価	外部評価
6 教育行政の円滑な推進と効率的運営	<p>(2)学校の安全管理と事故防止 □児童生徒の安全な学校生活のための環境整備</p> <p>○安全点検後の迅速な修繕 ○防火管理体制の充実 ○通学路の点検と危険箇所の解消</p>	<p>○通学路に面したブロック塀の安全点検</p> <p>○各幼・小・中に防火管理者を設置し、防火管理体制を確立 (新規管理者には、講習会受講による防火管理資格者の確保)</p>	<p>B</p> <p>○学校教育の中で最も大切な児童生徒の安全について、田村市内での死亡事故等がなかったことは本当に良かった。引き続き努力願いたい。 ○児童生徒の安全確保は教育の絶対条件ですが、容易に改善できない課題も数多くあるように思いますので、地域や関係団体などとの連携を一層強化しながら、必要な対策を講じていくことが重要であると考えます。 ○通学路になっている道路も狭いところが多く、子供たちの安全を確保するのは、場所によっては難しいところもあるようです。</p>
	<p>(3)児童生徒の通学支援 □児童生徒への費用的支援</p> <p>○遠距離通学児童生徒への通学支援</p> <p>○自転車通学への通学支援</p>	<p>○遠距離通学児童生徒への市補助金交付要綱に基づく負担軽減 小学生6名 中学生14名</p> <p>○自転車通学者へのヘルメット購入補助により交通事故防止及び事故発生時の重症化防止 56名</p> <p>○通園通学のあり方に関する検討会の提言をもとにスクールバスの利用基準の見直し検討</p> <p>○園児・児童・生徒のスクールバス乗車の安全確認(職員による試乗)</p>	<p>A</p> <p>○各種補助について市の財政的には大変だと思われませんが、保護者にとってありがたいことなので今後ともご努力を願いたい。 ○遠距離児童への支援・自転車通学ヘルメット支給は、とてもありがたいです。</p>
	<p>5 教育効果を高めるための学校規模の適正化を進めます。</p> <p>(1)複式学級解消に向けた学校規模の適正化推進</p> <p>■学校規模の適正化推進</p> <p>○小学校適正規模・適正配置検討委員会の設置</p>	<p>○今後の児童生徒数の推計</p> <p>○田村市立小学校適正規模・適正配置検討委員会を開催、教育委員会へ提言</p> <p>○船引地区幼保小保護者へアンケートの実施</p>	<p>A</p> <p>○複式学級の困難さを保護者地域に十分に理解していただく努力をお願いしたい。 ○少子化が進む中で、学校規模の適正化推進は必要であると思いますが、学校の統廃合が学区全体の少子化を加速させている実態があることを考えますと、市の「地域が育て、地域で育つ、市民参加の教育」という基本的方向性をふまえ、地域性や通学距離と教育活動の充実、将来の見通しとそれに対する市の施策などを総合的に検討し、よりよい学びの場を提供していくことが必要であると思います。 ○少子化、かなりのスピードで進んでいるのが実感です。</p>